

©サンライズ



BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

パッケージの写真・イラストと商品とは、多少異なりうけでご了承ください。



WD-M01 V GUNDAM

INGRESSA MILITIA MOBILE SUIT



イングレッサ・ミリシャ
モビルスーツ
WD-M01 ターンエーガンダム
1/100スケール マスターグレードモデル

BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0150536



ワンハンドレッドの頂点

富野由悠季(ターンエーガンダム総監督)

ファンがいてくださるからこそマーケットがあり、だからこそ、ガンダムのモデルは、自らがミニチュア・モデルの歴史の山をつくり、それをまた自らが乗り越えていく歴史を刻んできました。その結果、このマスターグレードモデルのラインナップに、ターンエーガンダムでもって区切りにしてくださったことに、関係各位とこれを手にしてくださった方々に、お礼と謝意を述べます。

五十年前、アメリカから輸入されたプラスチックのモデルを見たときに、ぼくは愕然としたものです。

それまでに、ぼくは自分の描いた自作自家用機という嘘八百の機体の三面図を描き、それにあわせて、風呂を沸かすときには使う薪から機体と翼を削りだし、セルロイド板を元型の木に貼りつけ、それを熱湯につけて型取りをしたキャノピーをつくり、銀色に塗ったソリッド・モデルを作ったものです。それでも、プロペラは削りだせませんでした。機体が嘘八百のものでも、ペラだけは本物でなければならないと思ったのですが、その断面図が描けなかったのです。

このあとでF-86に挑戦したのですが、実機の断面図を三面図に起こすことができずに挫折をしました。ペラとおなじで、実機のアリアルズムの再現についての知識がなく、資料を集められなかつた能力のなさを思い知らされたのです。

日本のモデルがアメリカ製を越えるようになったころに、ぼくはアニメの仕事をするようになっていて、ロボット物というジャンル、すなわち嘘八百を素材にする作品をつくるようになっていましたから、このジャンルのモデルもあっていいのではないかと思うようになりました。ありもしない自家用機のモデルを作った記憶があつたからです。

しかし、現実には、超合金物といわれる範囲のものにとどまり、バンダイがガンダムをモデル化したのですが、玩具メーカーの風土がつくるモデルはちがうという時期もありました。それでも、フィクション上のモデルが簡単に組み立てられる商品になつてることには、心が躍つたものです。自作するよりは精度がよく、ミニチュア・モデルとしての有意性はあると感じたからです。

それでも海外の出来のいい列車のモデルには勝てないという焦燥感もあったのですが、このギャップを自分が関与した作品のモデルが乗り越えていく歴史がつづいてくれたことは、幸せな体験になりました。

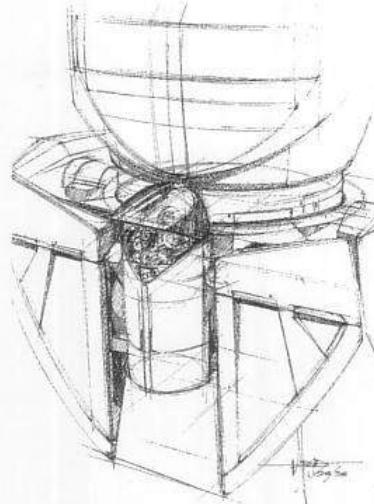
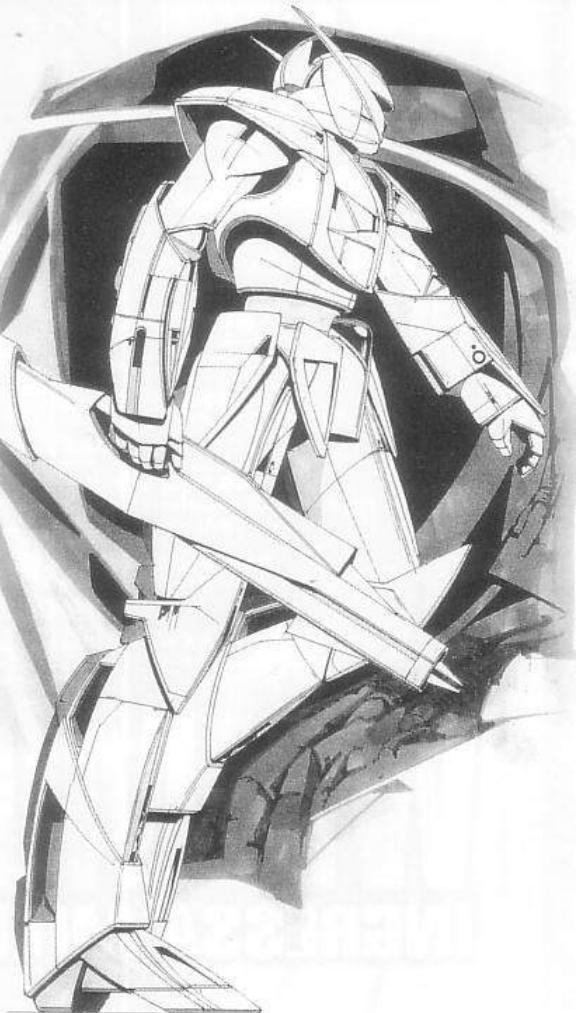
そして、ガンダム・シリーズのなかに、ターンエーのモデルを持ち込んでいったのは、ぼくにあの中学一年生までの記憶があったからなのです。すべてがオリジナルのデザインでは不足、もうひとつリアルな感覚を持ち込む必要があると切実に感じるようになつてきましたからです。

それがシド・ミード氏への発注になつたのです。ぼくにとっては神様のような方がやってくださるなら、氏が提案するものなら、なんでも受け入れようと覚悟をしたのです。しかし、その評価が芳しいものではなかつたことは、残念ではありましたが、無駄な仕事ではなかつたという感触は、今日現在までつづっています。

工業デザインに求められる端正さというのは、使う目的によってその造形が決定される、という哲理を体現させているものです。その感覚がリアル、なのです。アンテナが髪になつてしまつたのは全体の表面積を小さくするためのものですし、コクピットは、パイロットという造形にとって異質なもの出入りを邪魔しないためにあの位置になつたのです。確実に稼動するものは、構造はシンプルになります。ですから、ターンエーはシンプルなのですが、リアルに見えるのです。のためにキャラクターになりきつていなかつたのでしょうか。

そして、あれからまた、現実は、二本足歩行のロボットが本当に歩き出して、フィクションがリアルになっていく時代になつてしまい、ターンエーの造形が復活する何かを持っていると予見させるようになりました。

その造形的な主張をマスターグレードモデルの技術で再現していただいているわけですから、これはミニチュア・モデルの一時代の狼煙になります。また、若い世代が、ターンエーをこのシリーズのマイルストーンの位置に押し上げてくださつたのですから、今回の企画と商品化は、心底うれしいことと思っているのです。ありがとうございます。



COCKPIT : COLOR CLOTH
FRONT HIP COVER PLATES IN
FRONT POSITION : HIP COVER
PLATES ARE FRONT OF JELLY
FLAPBAL : SUPPORTING COCKPIT
HOPPER

○富野由悠季(ヒミの よしゆき) プロフィール

1941年生まれ。神奈川県小田原市出身。

日本大学芸術学部卒業後、虫プロダクションに入社、演出を担当。その後フリーとなり数多くの作品を手がける。1979年「機動戦士ガンダム」のTV放映後、1981年より劇場3部作を公開、一大ブームとなる。その後、1999年のTVシリーズ「マジンダム」の更なる世界の拡がりを目指した劇場映画「マジンダム I. 地球光/II. 月光蝶」(2002)や、1985年のTVシリーズ「機動戦士Ζガンダム」の主人公カミーユ・ビダンのドラマを再構築し「新訳」をモチーフに劇場映画として「機動戦士Ζガンダム A New Translation」(全3部作)を手がけた。著書には「機動戦士ガンダム」シリーズや「リーンの翼」などの小説ほか、「戦争と平和」「∀の恋」「映像の原則」などがある。また、大学教授として的一面も持つ文化人である。

△主な監督作品

TV 「機動戦士ガンダム」「機動戦士Ζガンダム」「機動戦士ガンダムΖΖ」

「機動戦士Vガンダム」「∀ガンダム」

劇場 「機動戦士ガンダム I」「機動戦士ガンダム II 真・戦士編」

「機動戦士ガンダム III めぐらしあ宇宙編」「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」

「機動戦士ガンダム F91」「∀ガンダム I. 地球光/II. 月光蝶」

「機動戦士Ζガンダム」」「機動戦士Ζガンダム II・恋人たち」

「機動戦士Ζガンダム III・星の鼓動は愛-」

組み立て前の基本説明

必要な道具

〈ニッパー(プラスチック用)〉
・パーツをランナーから切り離してゲートを取るために使います。

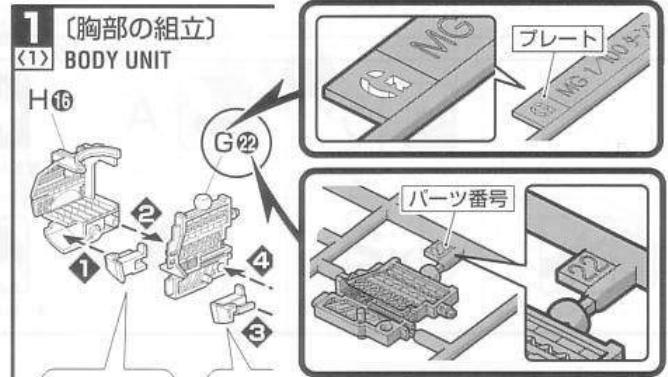
〈ピンセット〉
・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利。



*この商品に道具類は入っていませんので、別にご用意ください。

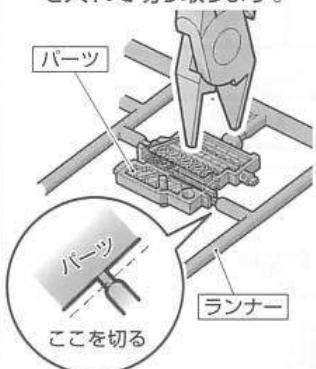
説明書の見かた。

説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)

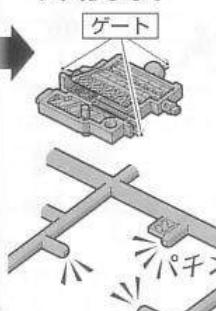


パーツの切り取りかた。

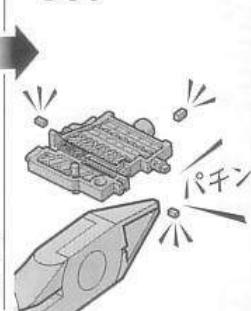
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなつたところでゲート跡の処理に入ります。

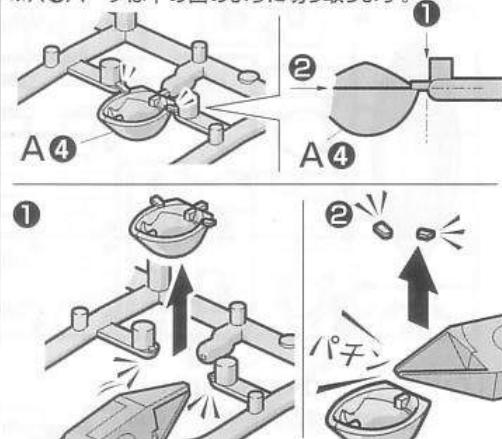


③ニッパーの刃をパートに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上ります。



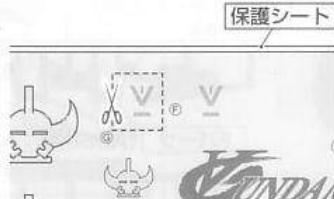
アンダーゲートの切り取りかた。

*A④パーツは下の図のように切り取ります。

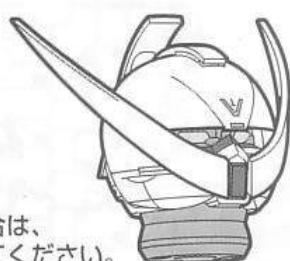


ガンダムデカールの貼りかた。

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



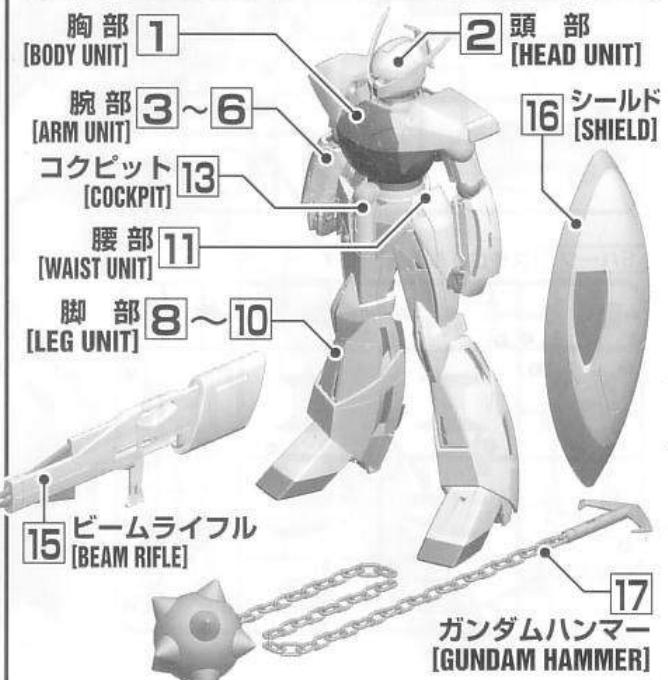
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着せます。



③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

*デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう。



△ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。(鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。)
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

<組み立てる時の注意>

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着するところ



・シールの番号



・デカールの番号

・反対側に取り付ける
パーツ・両側に同じパーツを
取り付ける・向きに注意して
取り付ける

・ビスの締めすぎに注意



・切り取るところ

・部品を数値の個数
作ります

・先に組み立てます

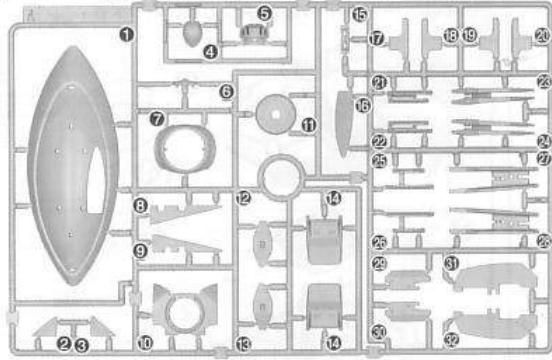


・後に組み立てます

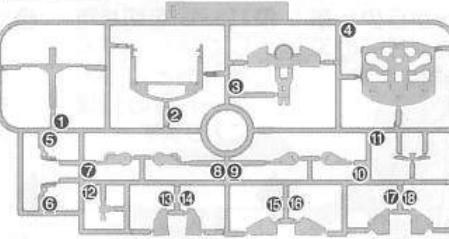
・数値に合わせて
回転させます・どちらかを選んで
取り付ける・反対側も同じように
動かします

パーティリスト

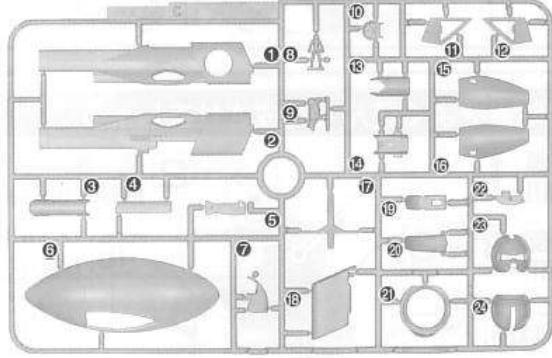
Aパート (スチロール樹脂: PS)



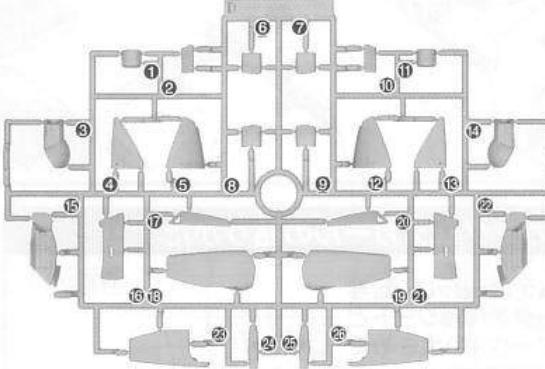
Bパート (スチロール樹脂: PS)



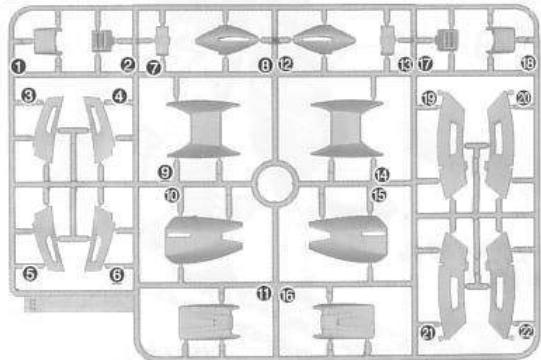
Cパート (スチロール樹脂: PS)



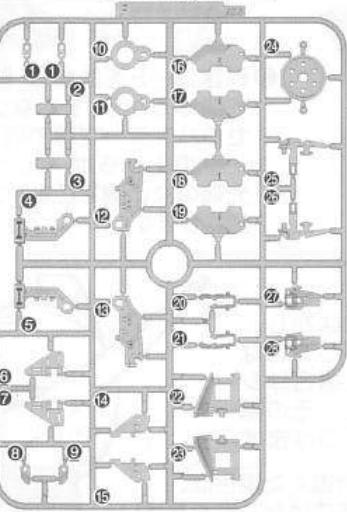
Dパート (スチロール樹脂: PS)



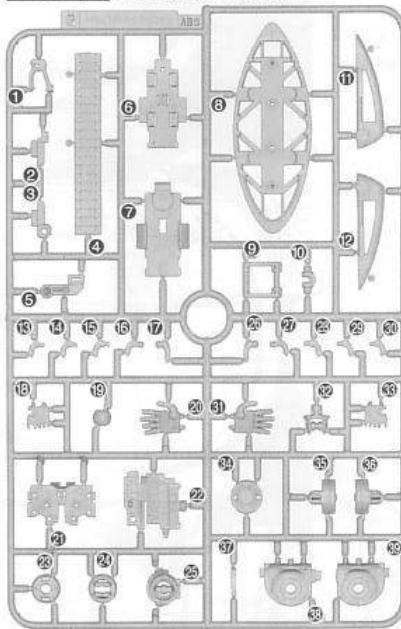
Eパート (スチロール樹脂: PS)



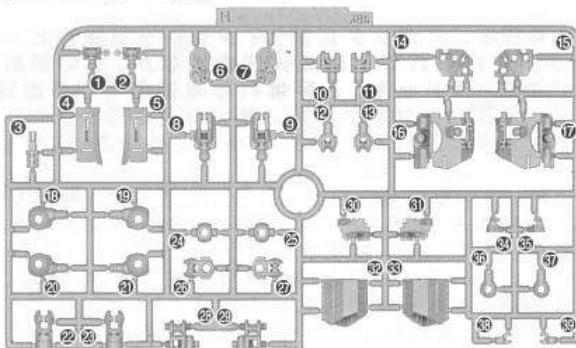
Fパート (ABS樹脂: ABS)



Gパーツ (ABS樹脂: ABS)



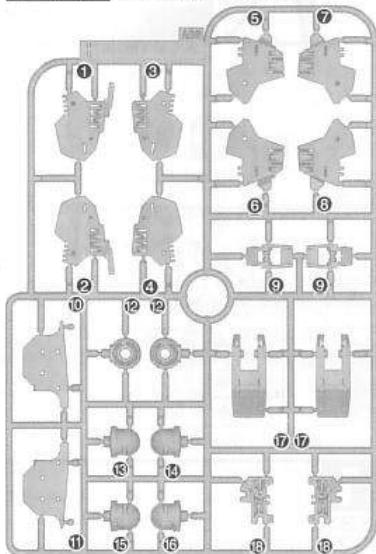
Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



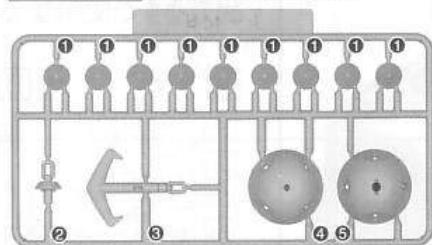
Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



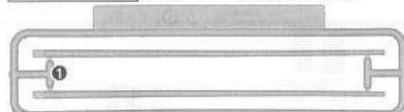
Iパーツ (ABS樹脂: ABS)



HM-Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



SB-7パーツ (スチロール樹脂: PS)



カラーシール 1枚
ガンダムデカール 1枚
プラチェーン 1本
(ポリアセタール: POM)
チェーンつなぎ 2個
(ポリアセタール: POM)

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。なお、部品注文カードを御使用にならない場合は発送が遅れる場合がございます。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時は残額をお返しいたします。

また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12
TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代は切り取った1個の料金です。

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違い
のないようにご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード 0150536-3800
1/100SCALE MGシリーズ
ターンエーガンダム

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした・なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 年齢
(- - -) (才)
R2005040 07.08
2007.08/T・ON ※コピー使用可

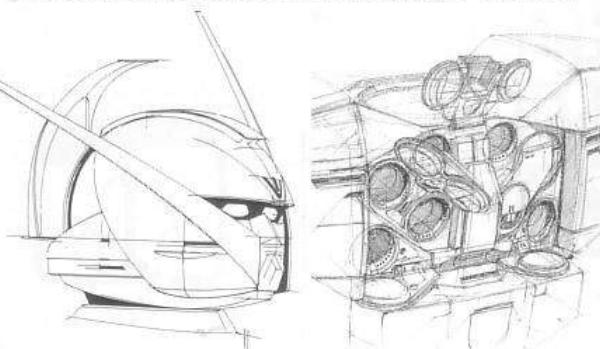
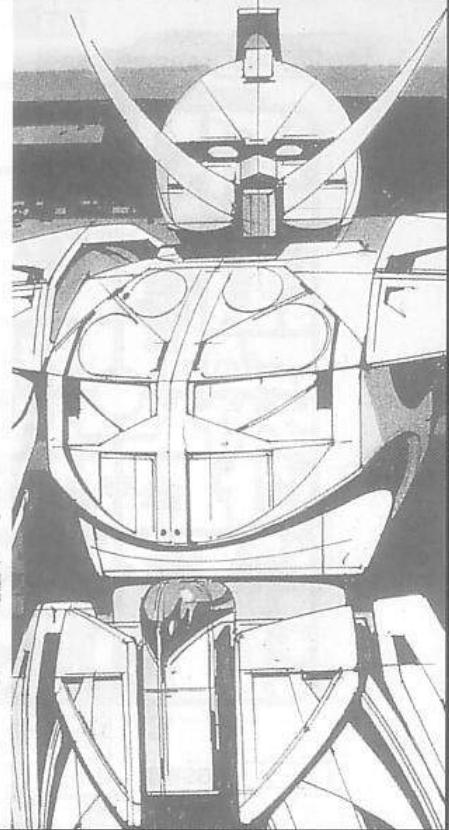
部品番号	取扱説明書	チェーン・チェーンつなぎ	デカール類	その他
部品代	150円	各40円	各40円	各40円
郵送料	200円	120円	80円	120円

BODY & HEAD UNIT [胸部] [頭部]

正暦2345年。Ζガンダムは、イングレッサ領内ビシニティタウン近郊のアーク山で行われていた成人式のさなか、その祭壇として長年祀られていた“ホワイトドール”と呼ばれる神像の中から出現した。

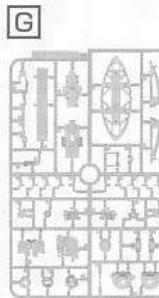
Ζガンダムの頭部はセンサー類の集合体であるとともに機体制御の中核である。機体の操作はパイロットによって行われるが、機体の挙動はむしろパイロットシートに配された「スパインパルスセンサー」がパイロットの意思をピックアップすることでコントロールしている。機体の新陳代謝を司るナノマシンの制御も頭部で行っており、非常時にはその作用を機体外に放出する機能も持っている。胸部構造は「マルチバーバスサイロ」と呼ばれるある種のペイロードスペースとして設計されており、戦術ごとに内装するデバイスを換装する。本来はビーム砲のドライブユニットやミサイルシステム、マシンガンなど、近接戦闘用の各種武装や装備、または補助動力装置などを収納するためのものだが、正暦2345年に発掘された際は、家畜や旧世纪の核兵器の運搬、秘匿に使用されている。

背部に装備されたオプションハンガーは、ビームライフルやシールドなどを取り付けることができる。出撃時にはDOC（デバイス・オペレーション・コントロール）ベース内で各種装備を選択し、最適の状態で前線に投入される。

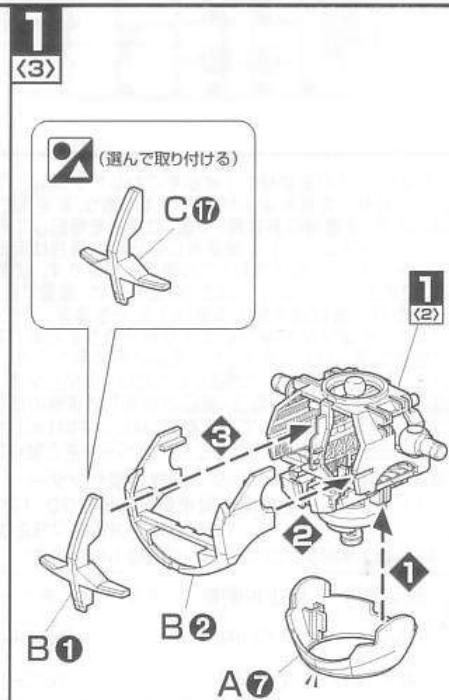
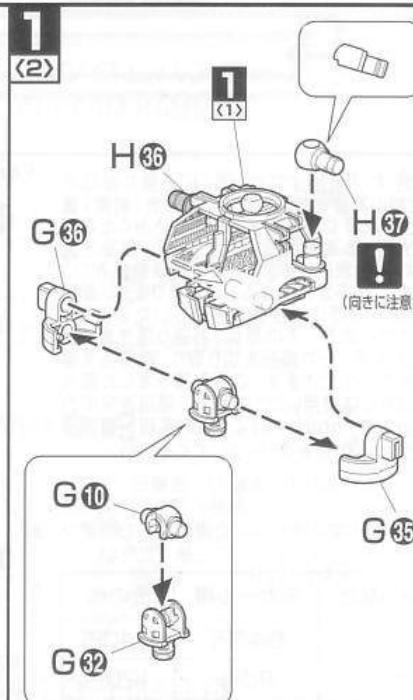
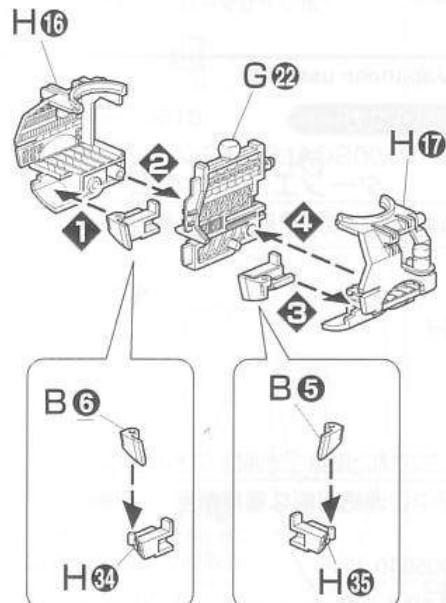


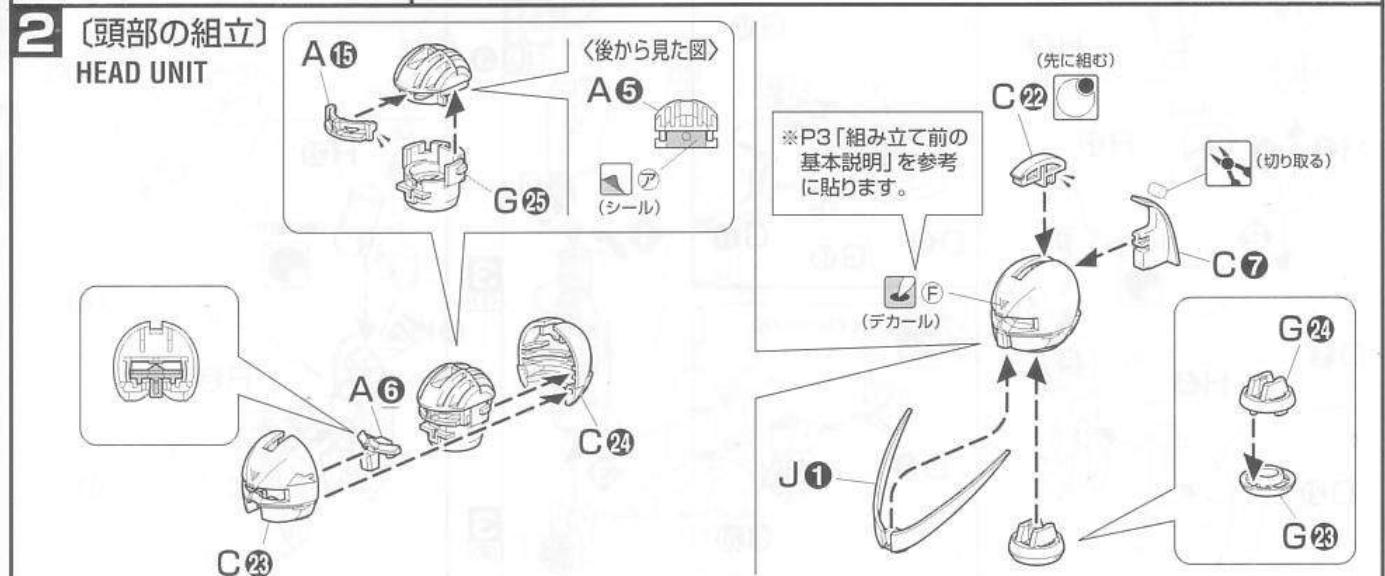
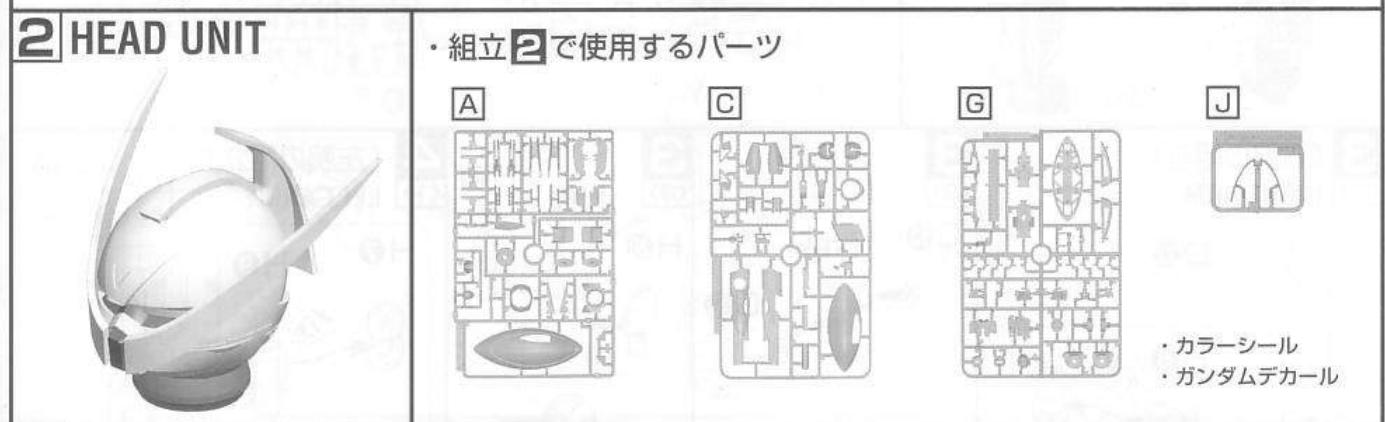
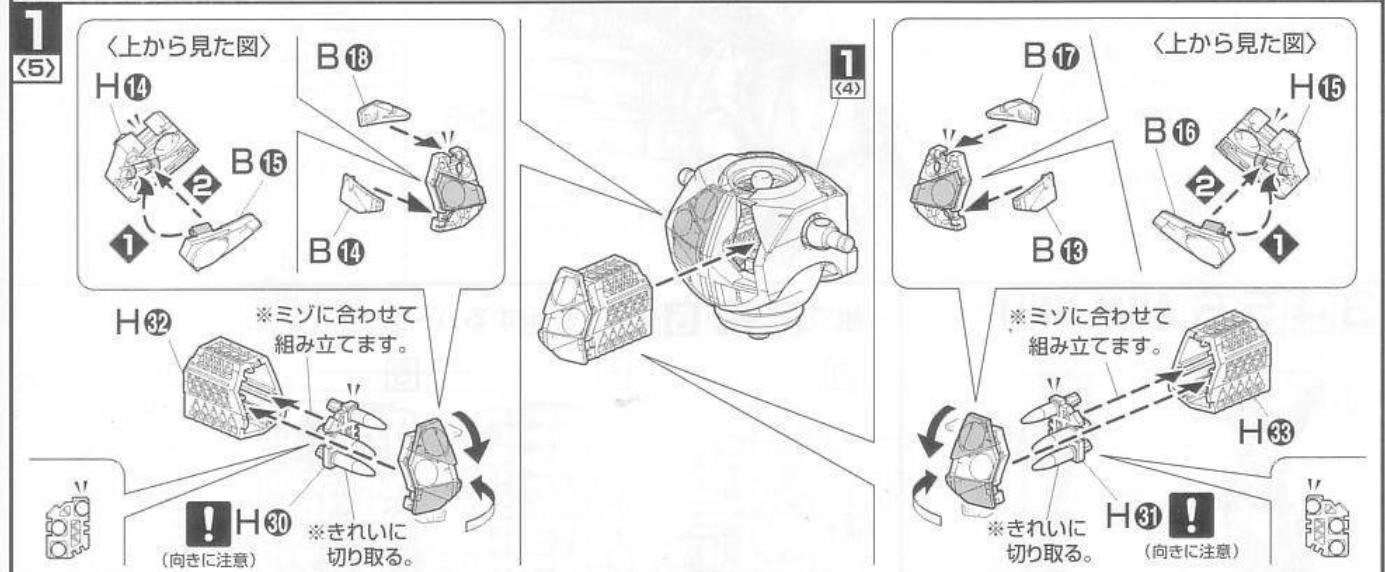
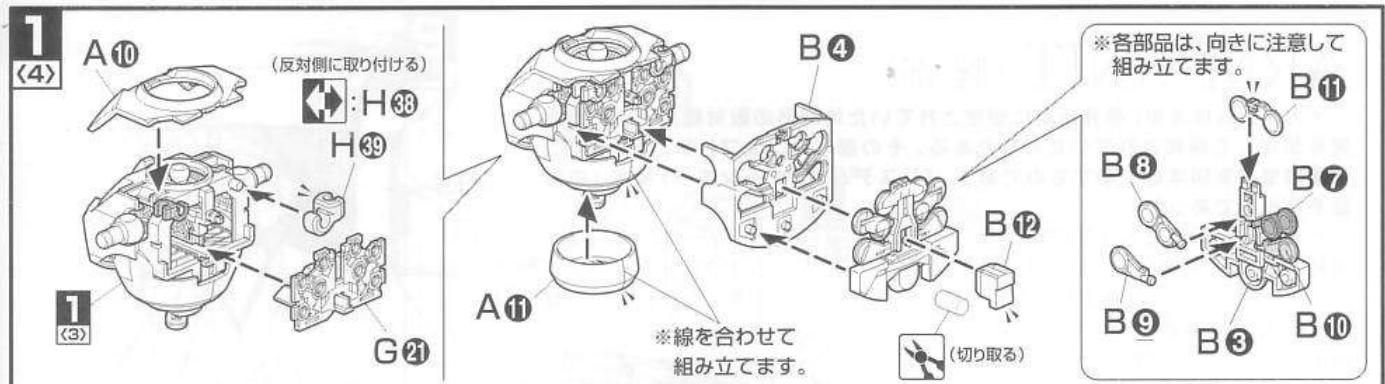
1 BODY UNIT

・組立 1 で使用するパーツ



1 [胸部の組立] BODY UNIT

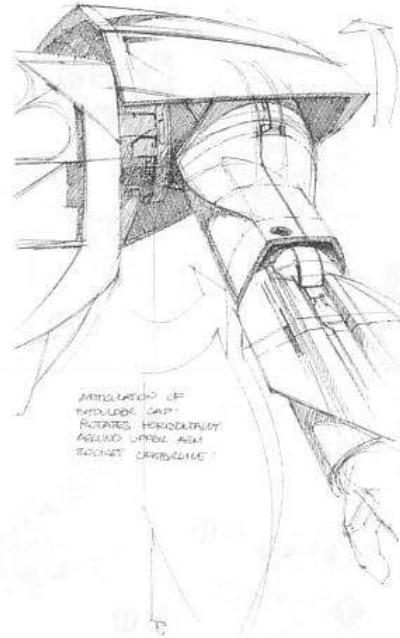
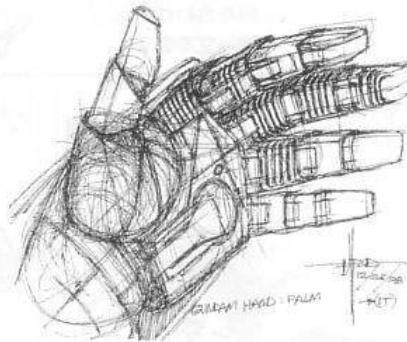




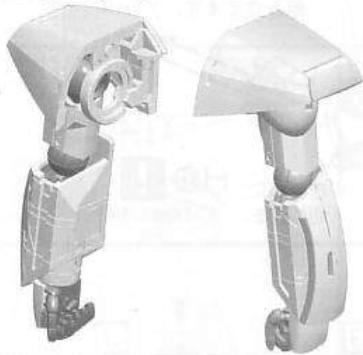
ARM UNIT [腕部]

▼ ガンダムは本来、開発当時に想定されていた地球外の敵対勢力との武力衝突を想定して開発されていたMSである。その基本コンセプトは、従来のMSの運用思想を根本的に覆すものであり、「システムV(ターンエー)構想」の実証モデル機であった。

▼ ガンダムの機体および腕部などの四肢は「IFB（アイ・フィールド・ビーム）駆動」によって稼働している。既存の多くのMSのように、ジェネレーターやアクチュエーターなどに占有される容積が極端に少なく、ヒンジやフレームなどの駆体そのものが構造材や装甲を兼ねた構造となっている。腕部はこの機体の武装や装備のプラットフォームとなってしまっており、各種の兵装は、マニピュレーターによって操作、保持、運用できるほか、下腕部のラッチに懸架、装着することも可能である。▼ 構想には整備と支援のための設備が不可欠であり、本来はDOCベースとの連携によって、ひとつの強力な戦術システムとして機能するよう設計されていた。



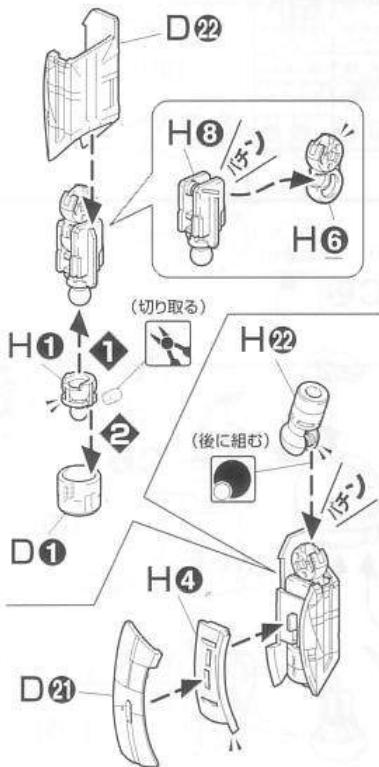
3456 ARM UNIT



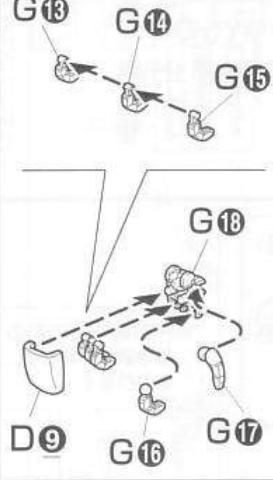
・組立**3・4・5・6**で使用するパート



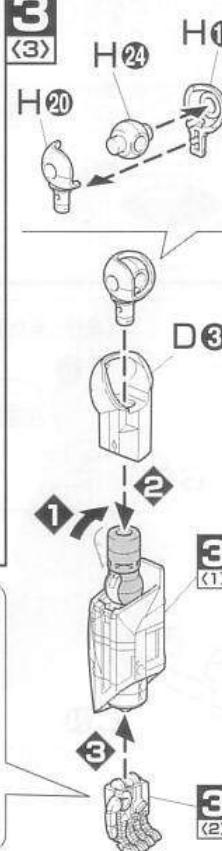
3 [右腕の組立] (1) RIGHT ARM



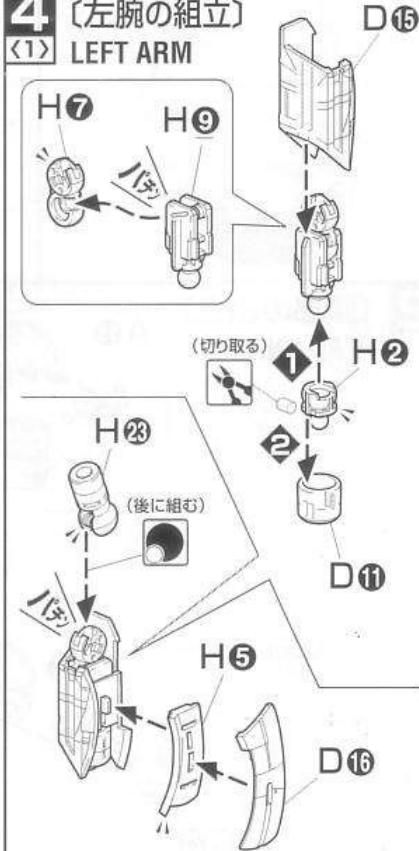
3
(2)

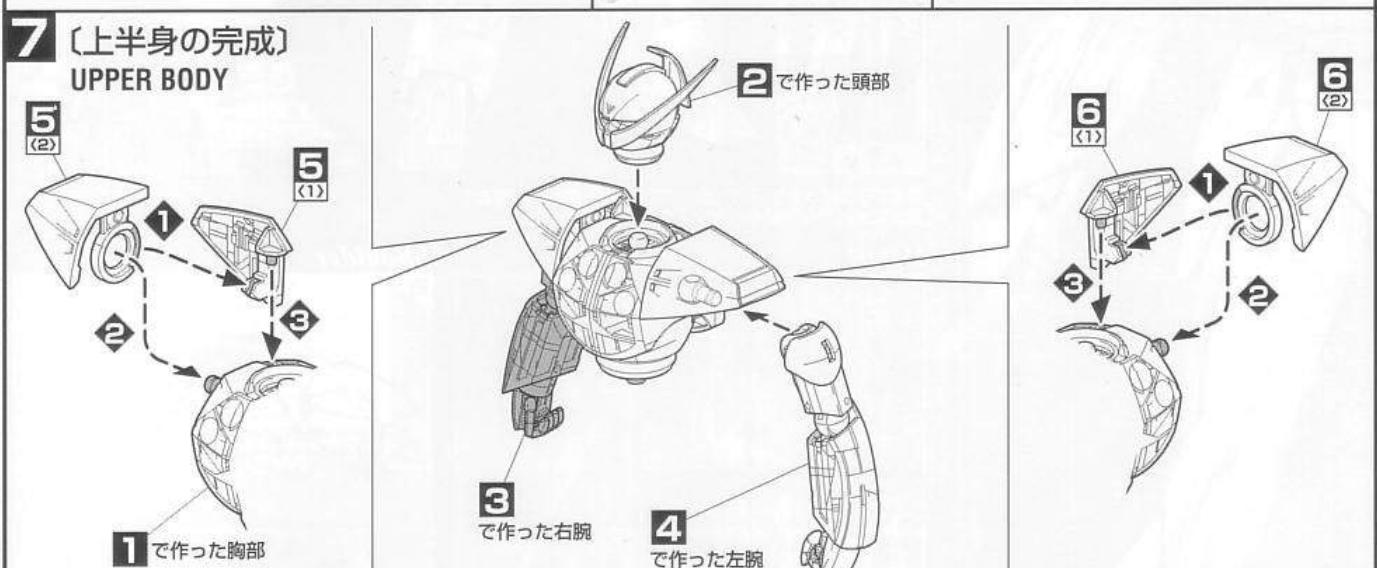
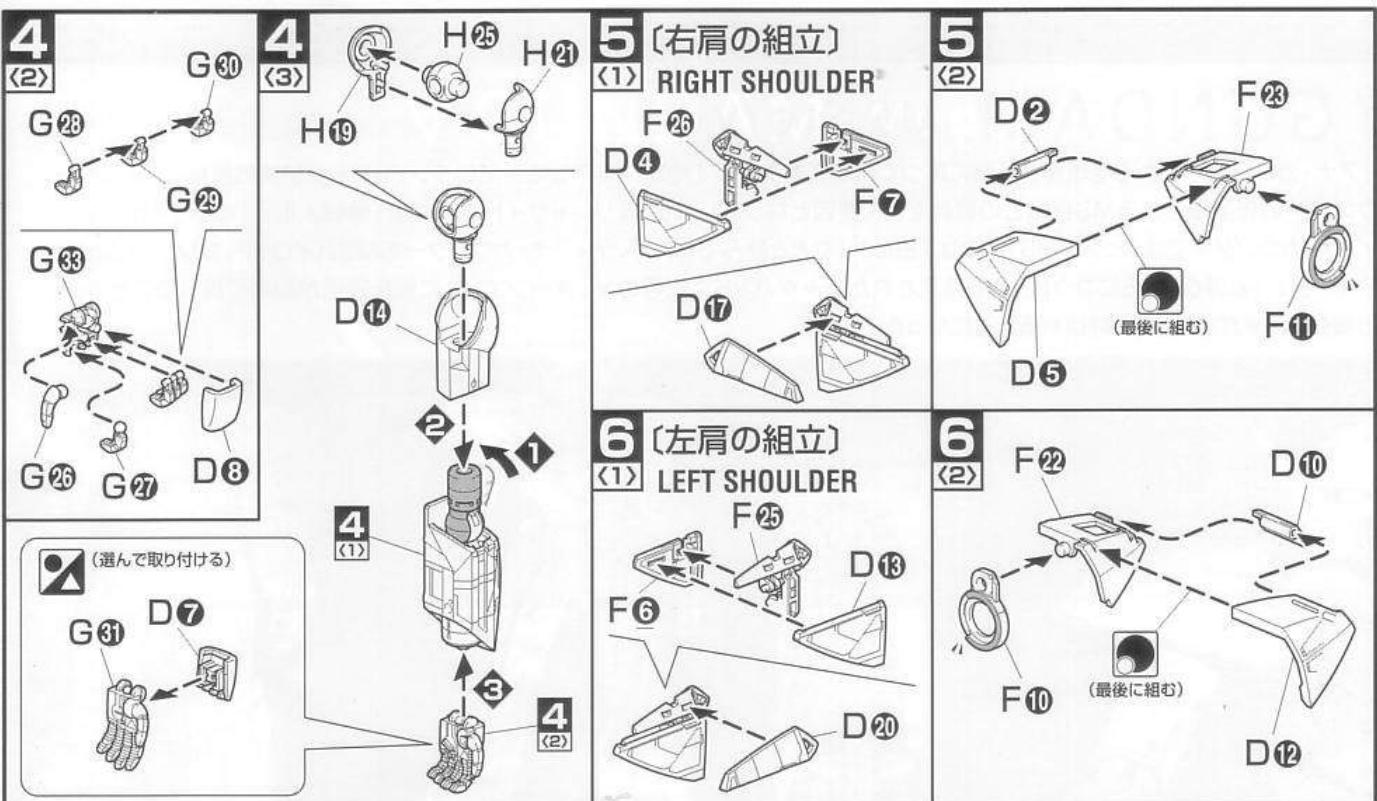


3



4 [左腕の組立] (1) LEFT ARM





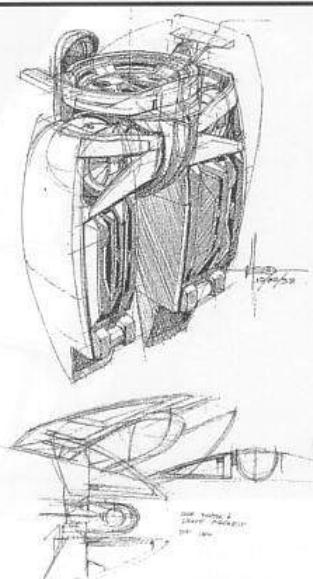
LEG & WAIST UNIT [脚部] [腰部]

△ガンダムの脚部は、正面の装甲と転体の構造を支えるフレームからなり、それ以外の空間はいくつものスラスターべーンによって構成されている。

脚部のスラスターべーンは、各ブロックごとに大きなものが数枚ずつ装填されているだけのよう見えるが、実際にはその一枚一枚がさらに小さな自己相似形のスラスターべーンによって構成されており、ながら鳥類の羽根のようにフラクタルな構造となっている。これらのべーン自体がマイクロエンジンを内蔵する超小型推進器を装備した二次元ノズルの集合体なのである。正暦2345年に発掘された直後は、脚部後方に土壤やナノスキンによる修復過程の老廃物が堆積していたが、歩行や戦闘などによってそれらが取り除かれた結果、飛翔用の機動装置として使用可能となった。この機構は、大気圏内は無論のこと、宇宙などの無重量空間においてもスラスターとして機能するのですが、△ガンダム全体としては、力場、あるいは空間そのものに干渉するかのような挙動を示したこともあり、実際の最高速度や稼働環境など、真の限界性能は不明である。ちなみに、下腕部と同様のラッチが脛部にも設けられており、兵装の懸架、装着が可能である。腰部のコクピットユニットは、両サイドに装甲を兼ねた推進装置が装備しており、緊急時にはパイロット保護のための脱出ブロックとして機能する。機体から離脱した状態のコクピットブロックは「コアファイター」と呼ばれる。

コアファイター

△ガンダムのコクピットブロックは、緊急時には脱出カプセルとして機体から分離して戦線を離脱することができる。その場合、腰部前面の装甲がコクピットブロックと共に分離し、ライトパネルとして機能する。コクピットユニットおよびキャノピーは回転して飛翔位置に固定される。この形状における戦闘能力は未知数である。

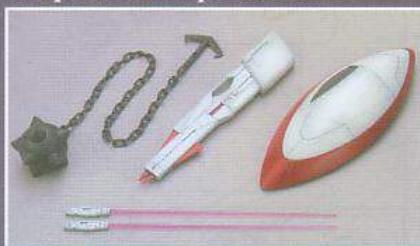


△GUNDAM Modeling Work

機能を示すことができた形は美しい。シド・ミード氏のオリジナル・デザインや、アニメ作画用の画稿を徹底的に解析し、立体化。ディテールのみならず、各部関節の可動についても、ミード氏の画稿を元に、無理なく立体化されている。もちろん「MG」であるから、ストーリー上の演出再現も欠かせない。最先端のレーザー加工技術を活かした1/100スケールの「牛」フィギュアが、まさに象徴といえる。



Weapons & Weapon Mount

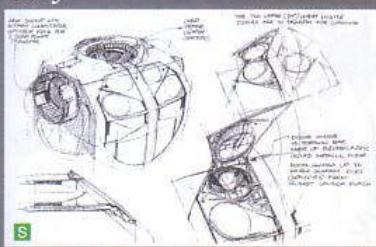


印象的なガンダムハンマーの他、グリップ格納や伸縮可能なビームライフル、ビームサーベル、腕への取付部がスライド可能なシールドが付属。ビームライフルとシールドは専用パーツで背部にもマウント可能。

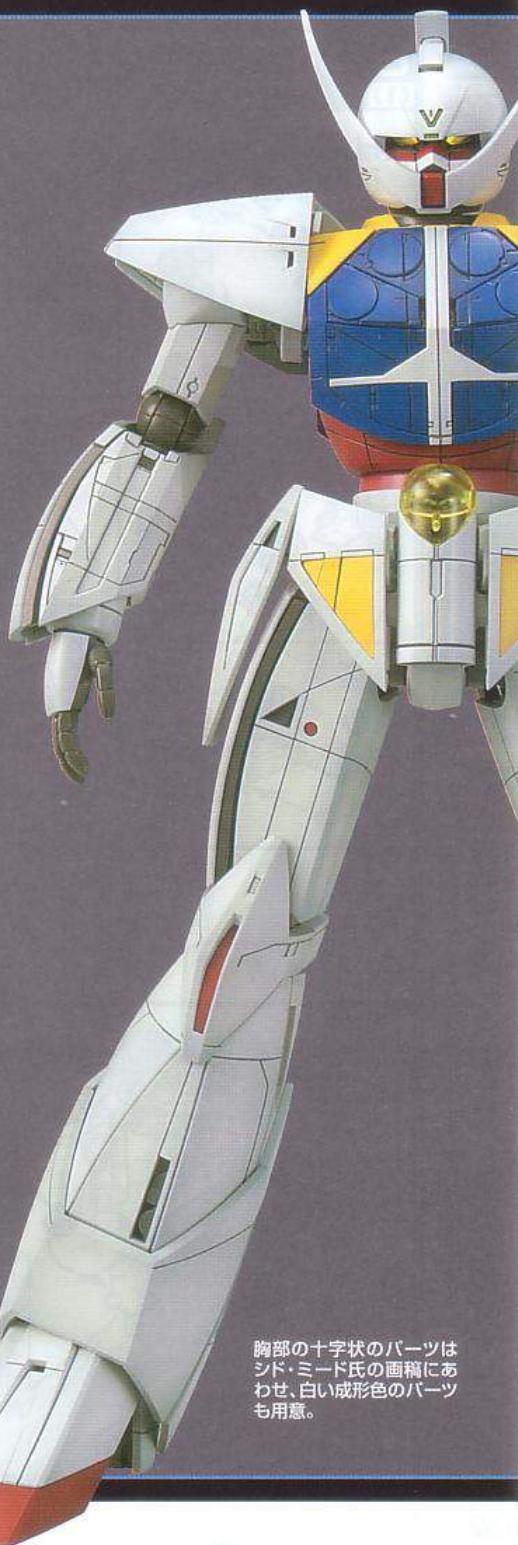


背部「月光蝶システム」のナノマシン散布用ベーンのハッチが開閉可能。

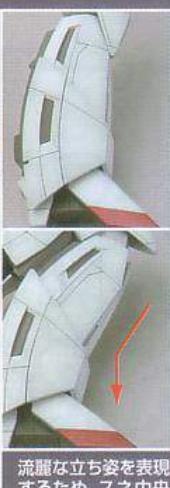
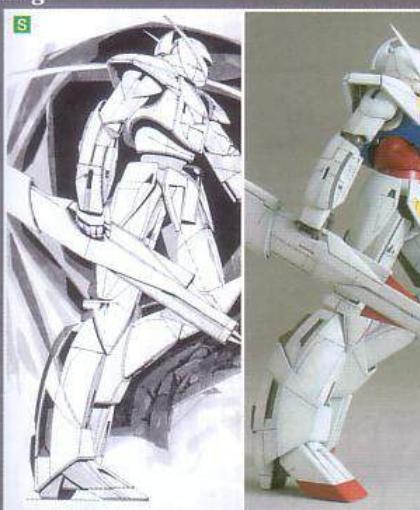
Body



ハッチ開閉ギミックの内部にミサイルを再現。腰部ビームキャノンはスライド展開式。

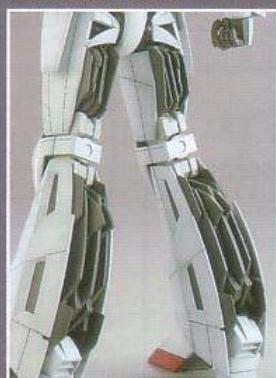


Leg



流麗な立ち姿を表現するため、スネ中央に可動関節を追加。

Thruster Vane



スラスター・ノズルとフレームが一体となった複雑な形状のスラスター・ベーン。脚部の動きに連動して可動。

胸部の十字状のバーツはシド・ミード氏の画稿にあわせ、白い成形色のバーツも用意。

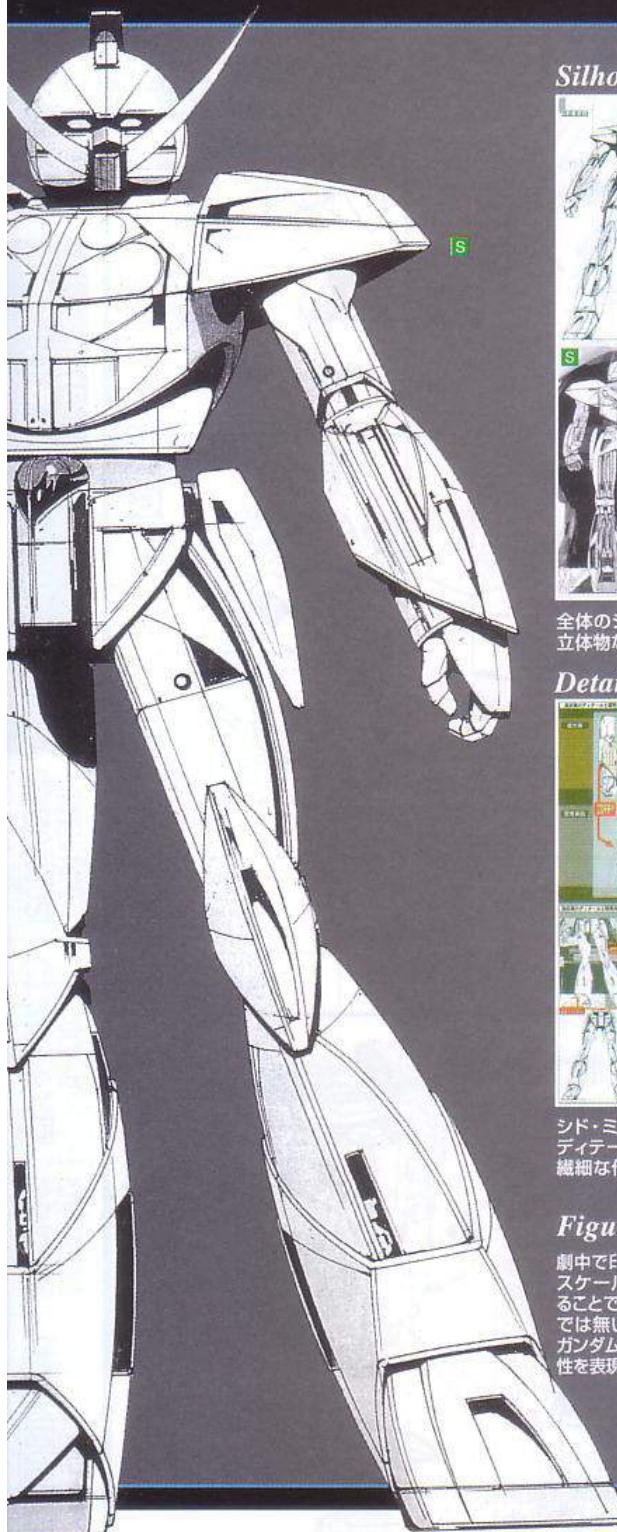
△GUNDAM
MASTER GRADE

△GUNDAM ORIGINAL DESIGN : Syd Mead
MASTER GRADE CONCEPT DESIGN : Katoki Hajime
PRODUCT DESIGN : BANDAI

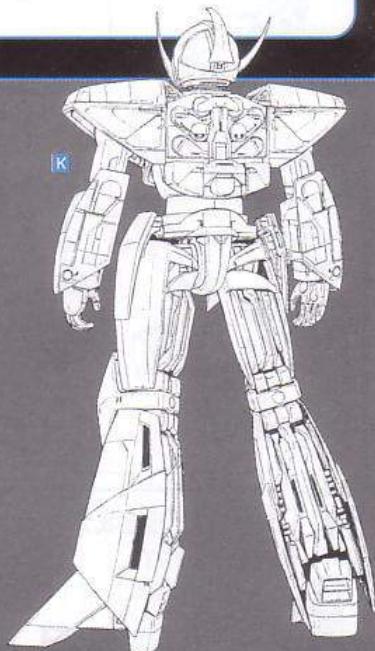
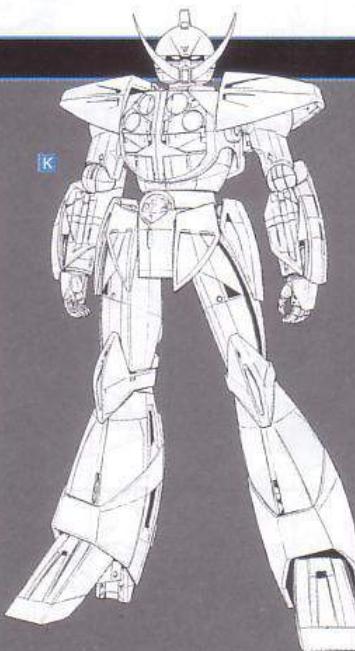
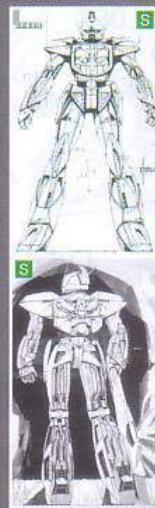
Scanned by Dalong.net

△GUNDAM MS Story

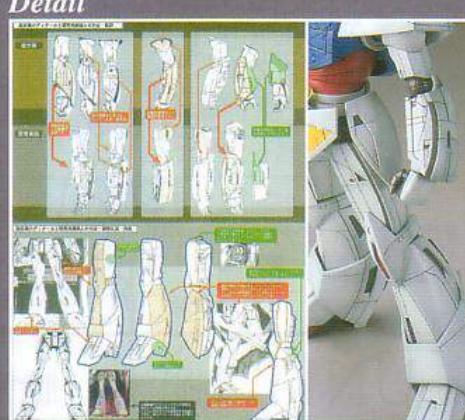
ディアナ・カウンターによる地球帰還計画に基づく環境調査員として地球に降下していたロラン・セアックが偶然搭乗し、ディアナ・カウンターの先遣隊であるMS部隊との戦端を開く要因となってしまう。ミリシャサイドの人々は「機械人形」「ホワイトドール」、ディアナ・カウンターでは「ヒゲのMS」または「白ヒゲ」と呼んでいたが、ディアナ・カウンターのMSパイロット、コレン・ナンダーが「ガンダム」と呼び、さらにコクピットで発見されたデータパッドに記号の△(ターンエー)に似た図柄が頻繁に現れることから、この機体は「△ガンダム」と呼ばれるようになった。



Silhouette



Detail



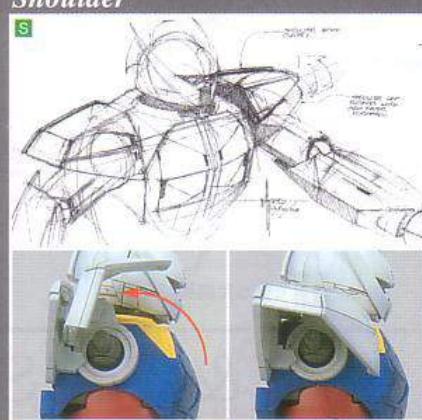
シド・ミード氏の複数の画稿から、MGを取り入れるべきディテールをセレクトしている。全身に渡って繰り返される繊細な作業が、MGの完成度を飛躍的に高めていく。

Figure

劇中で印象的な1/100スケール「牛」が付属することで、兵器としてだけでは無い、「ターンエーガンダム」のキャラクター性を表現している。

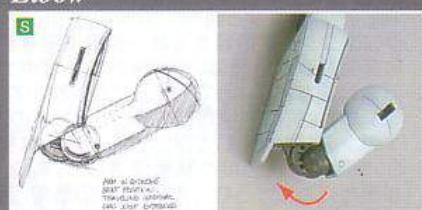


Shoulder



肩アーマーは前面が独立して回転、後面へとスライドする機構で、肩の可動範囲を妨げない構造。

Elbow



肘関節球体部の中央が迫り出すことで、肘の可動範囲を確保している。

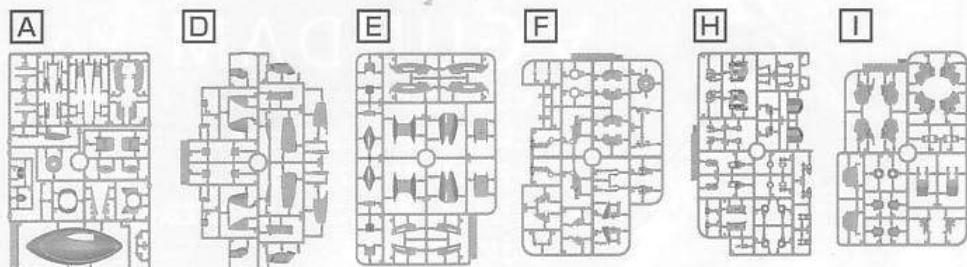
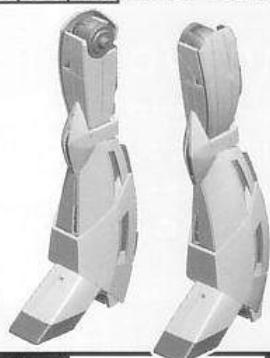
S シド・ミード氏画稿
K カトキハジメ氏画稿

MS SPEC
MODEL NUMBER : WD-M01
Height : 20.0m
Weight : 28.6t

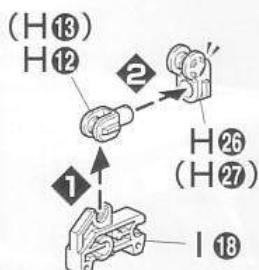
WD-M01

8 9 10 LEG UNIT

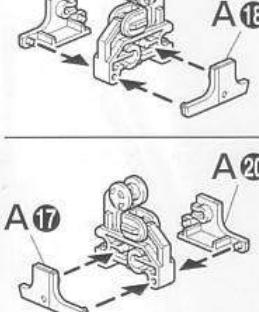
・組立 8・9・10で使用するパーツ



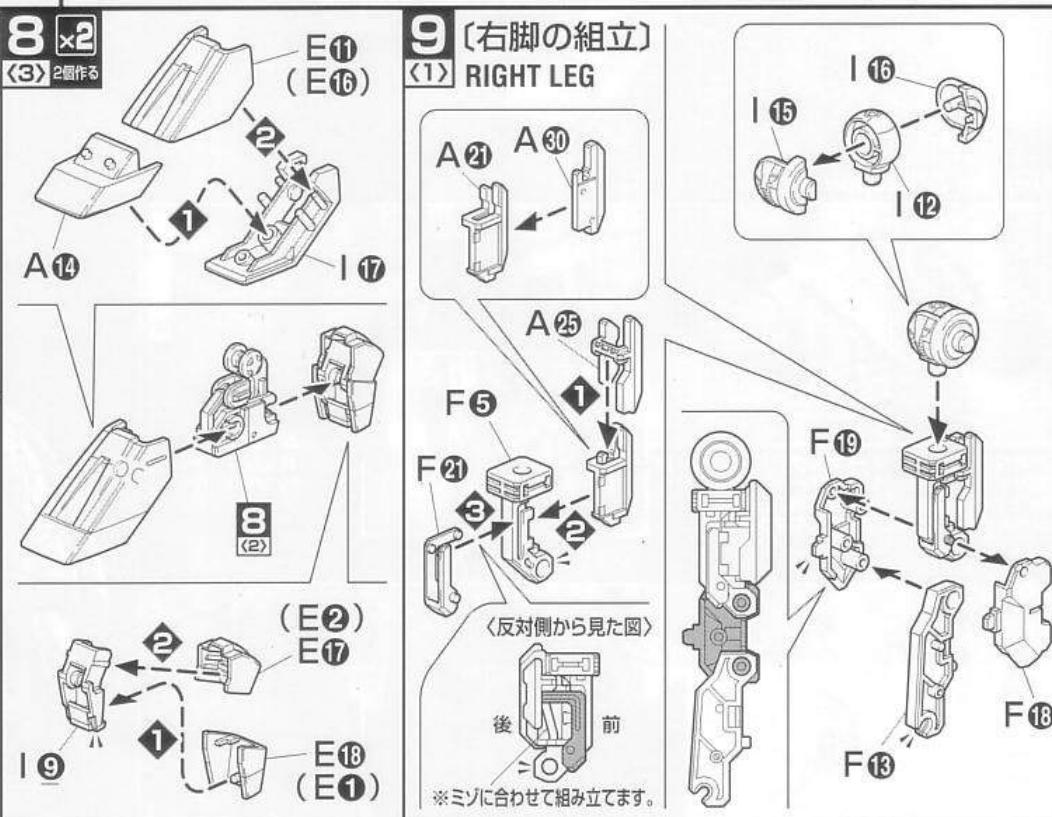
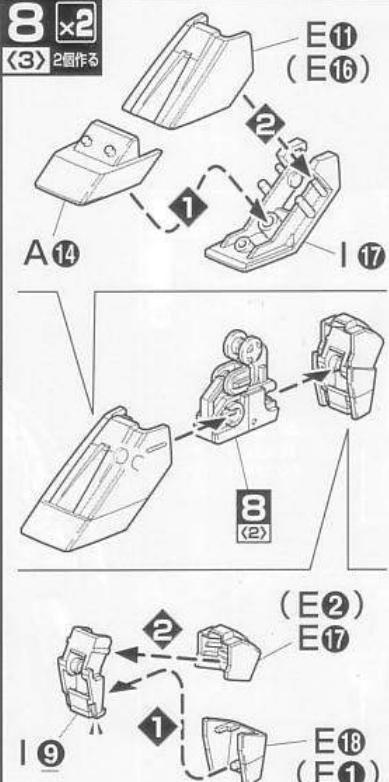
8 x2 [足首の組立] (1) 2個作る ANKLE UNIT



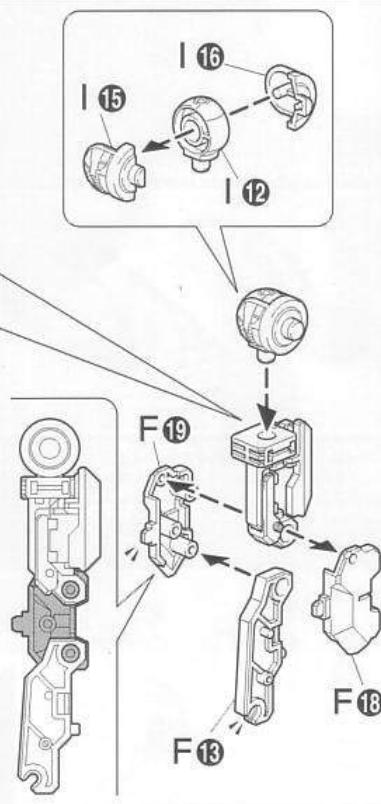
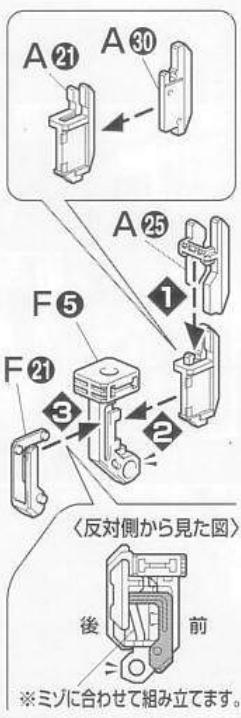
8 (2) [脚部] 8 HEAD UNIT



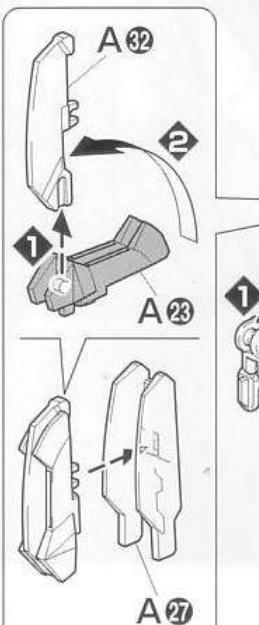
8 x2 (3) 2個作る



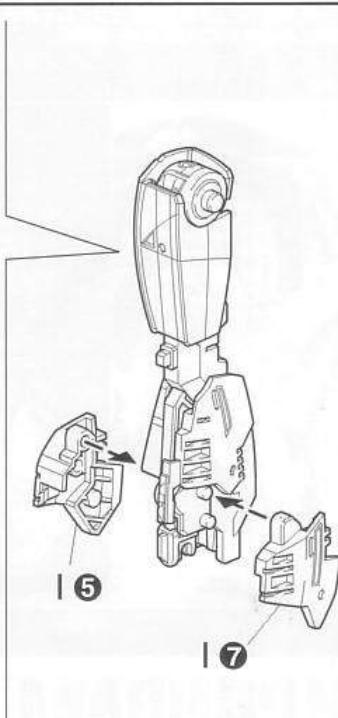
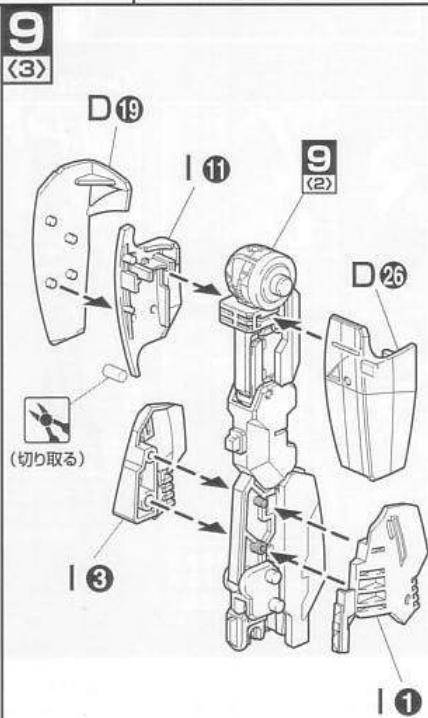
9 (1) RIGHT LEG

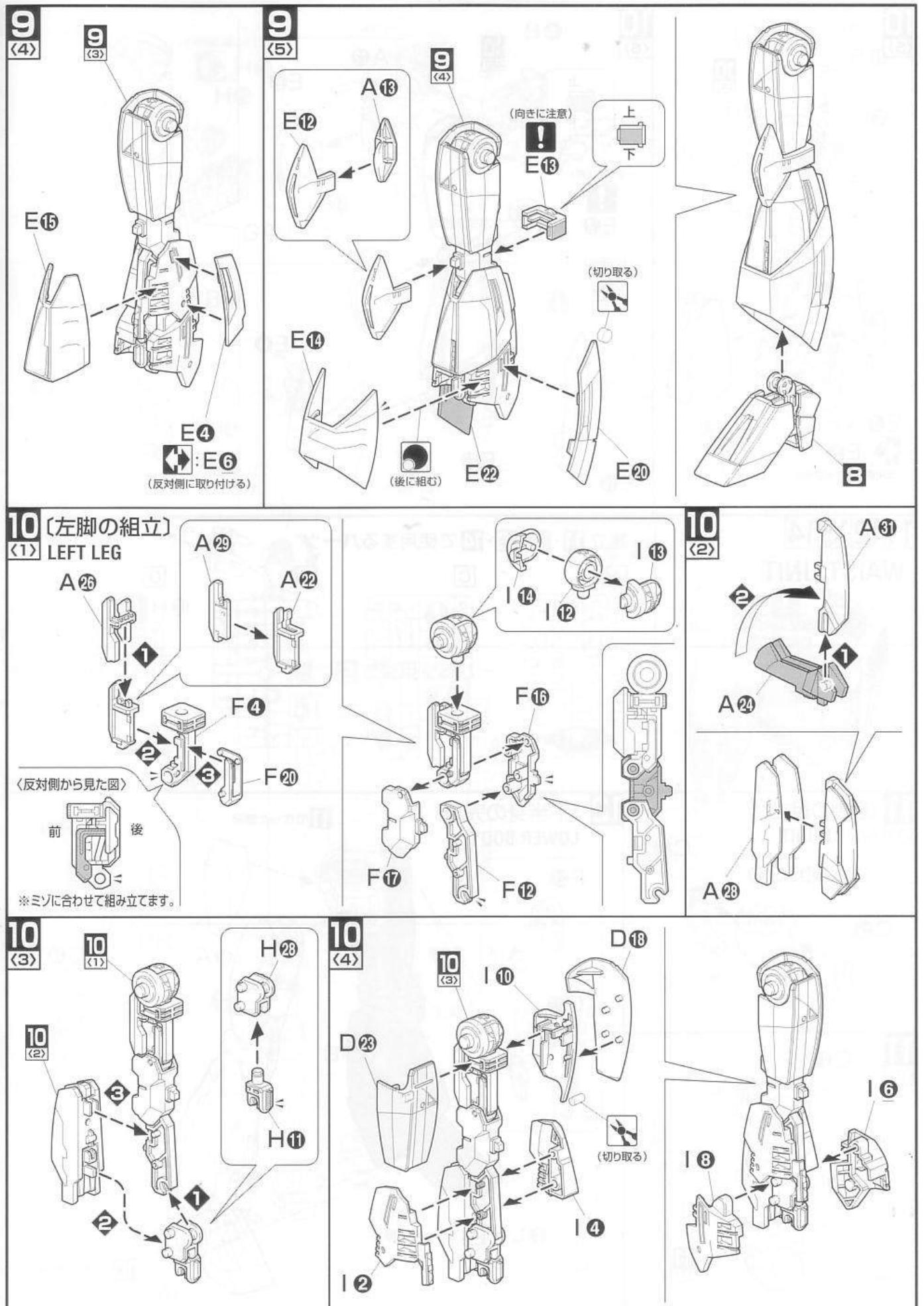


9 (2)

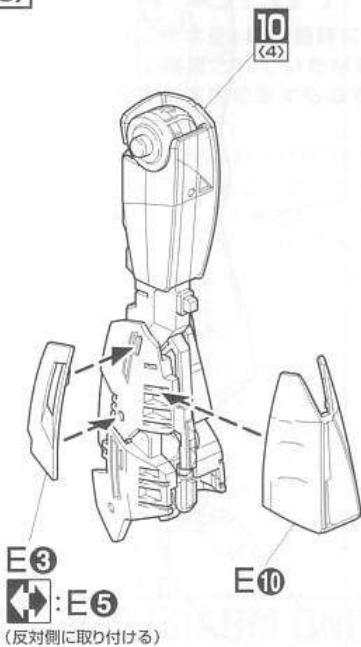


9 (3)

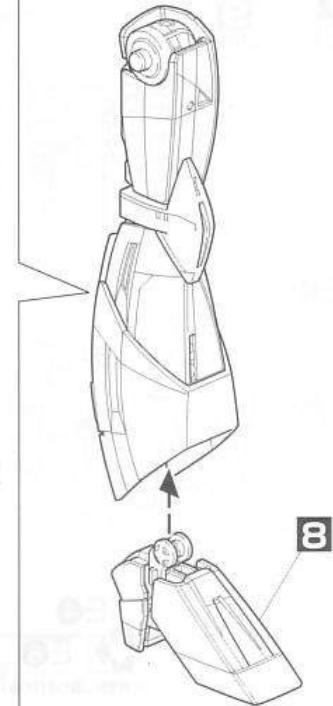
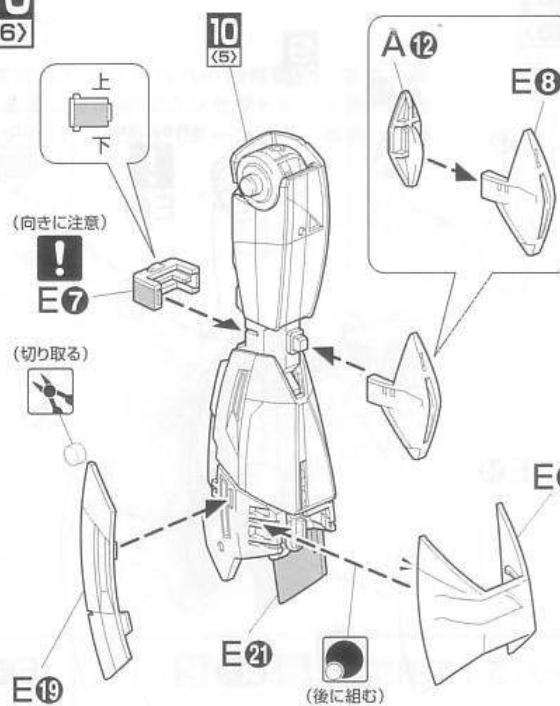




10
(5)

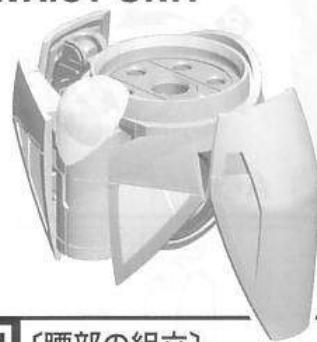


10
(6)

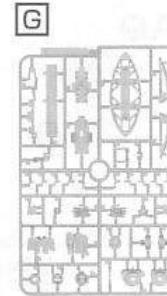
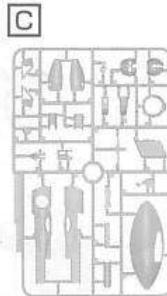
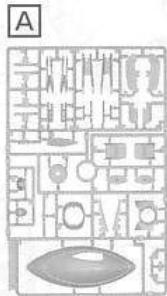


11 12 13 14

WAIST UNIT



・組立 11・12・13・14 で使用するパーツ



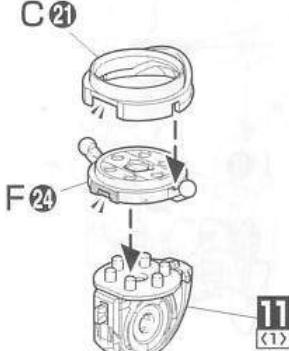
・カラーシール

11 [腰部の組立]

WAIST UNIT

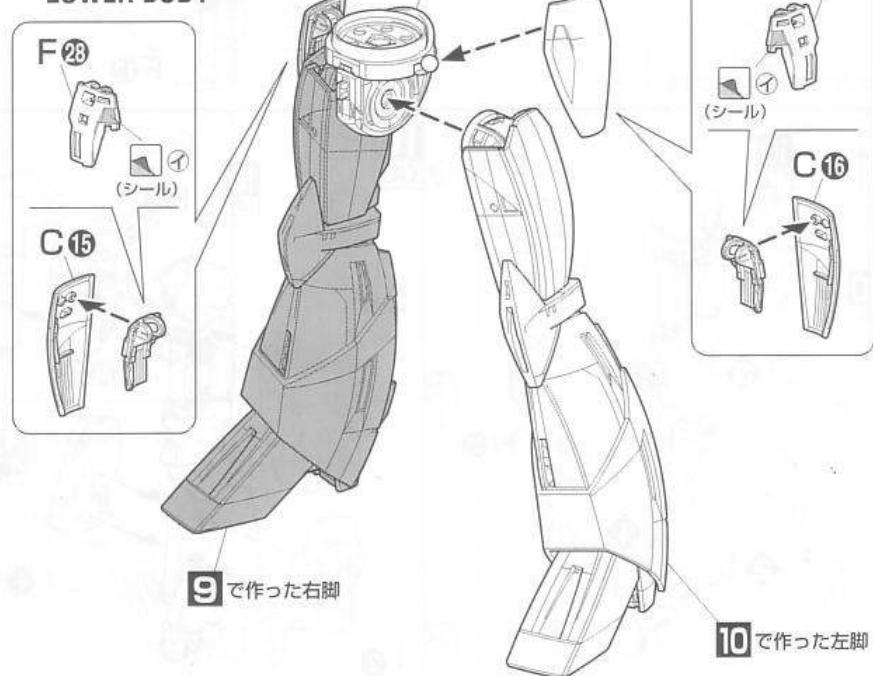


11
(2)



12 [下半身の完成]

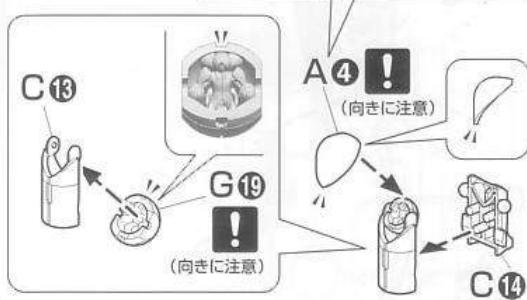
LOWER BODY



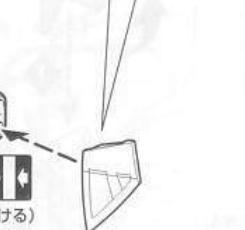
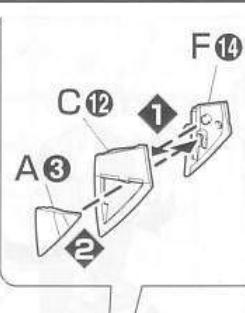
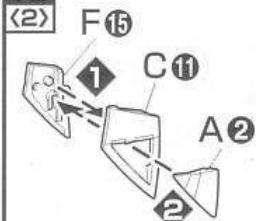
13 [コクピットの組立]

(1) COCKPIT

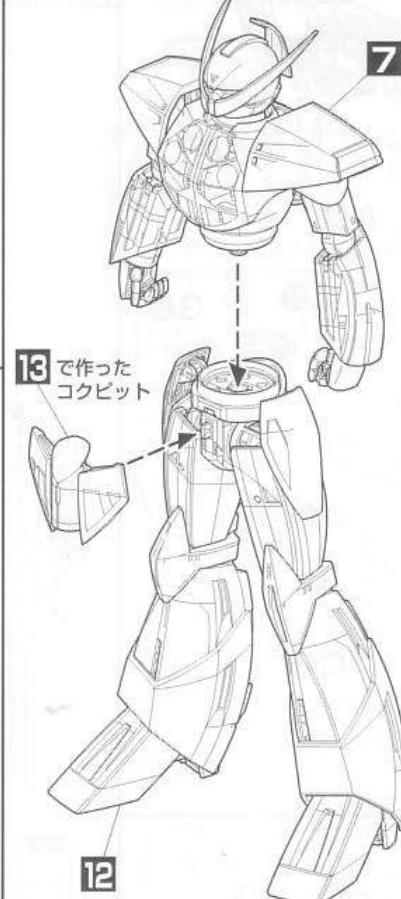
※P3「組み立て前の基本説明」
を参考にきれいに切り取ります。



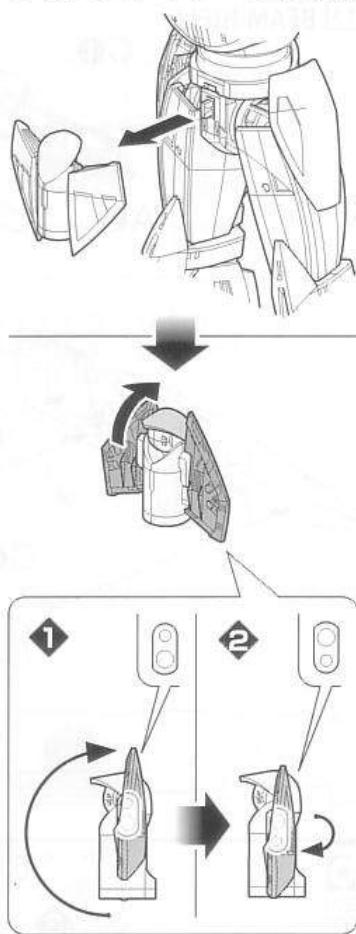
13



14 [完成] FINAL ASSEMBLE



[コアファイターの変形]



WEAPONS [武 器]

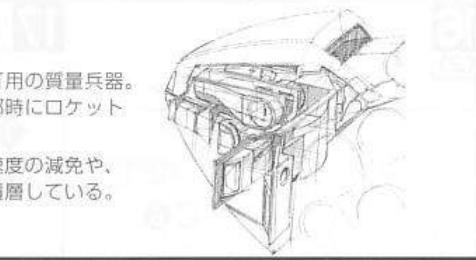
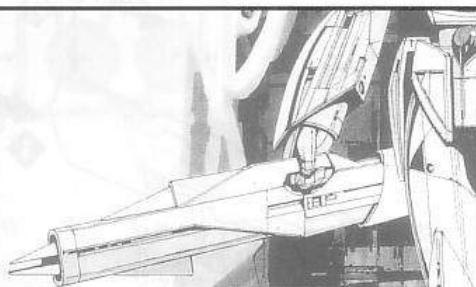
▼ ガンダムは、対MS用の機体として開発された白兵戦用の機体で、単機あたりの戦闘能力を徹底的に向上させた決戦兵器である。本来は、DOCベースとの連携によって、出撃ごとに最適の装備を換装してあらゆる「敵」を排除する究極の機動兵器を目標としていた。

ビームライフル ▼ ガンダムの主武装。中、長距離戦闘に対応した兵装で、最大出力で使用する場合には銃床部分をスライドさせてモード変換を行う必要がある。この操作を行わずに使用すると、ビームの集束装置が損傷し、最悪の場合、ライフル自体が使用不能となるばかりか、銃身が爆発し、機体そのものが被弾する場合もある。

ビームサーベル ▼ ガンダムの背部に装備されている近接戦闘用の斬撃兵装。先端から高温、高圧のビーム刃を発生させ、対象を溶断する。ビーム刃の形状は、戦闘の局面に応じて調整可能だが、特別な操作を行わない限り、基本的に「刀剣」状のビームが形成される。

ガンダムハンマー ホワイトドールの祭壇が崩落した際、その地下空間から発見された投擲撲打用の質量兵器。チェーン先端の砲弾にはスピーカーが施され、対象に対する与奪ダメージを倍加させてある。投擲時にロケットで加速することもあるようだが詳細は不明。

シールド 機体の投影面積の大部分を防御する巨大な防御用装備。防御面は、物理的な重力加速度の減免や、熱の伝導を遮断する構造など、多様な攻撃手段から機体を守る複数のレイヤーが貝殻のように積層している。各構造部材の活性状況にもよるが、自動修復機能も備わっている。

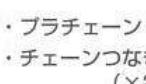
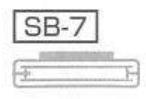
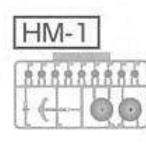
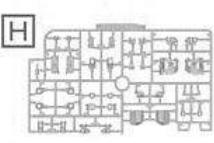
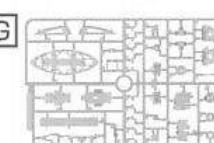
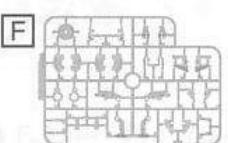
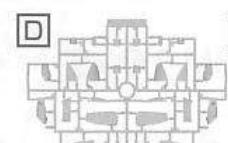
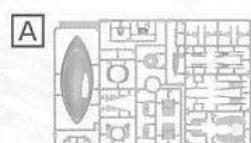


15 16 17 18 19

WEAPONS



・組立 15・16・17・18・19 で使用する PARTS



・ プラチーン
・ チェーンつなぎ
(x2)

[基本説明]
HOW TO

[部品表]
PARTS LIST

[胸部] 1
BODY UNIT

[頭部] 2
HEAD UNIT

[腕部] 3 4 5 6 7
ARM UNIT

[脚部] 8 9 10
LEG UNIT

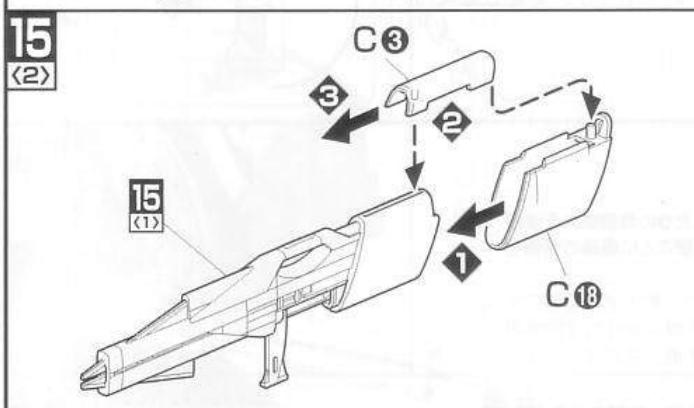
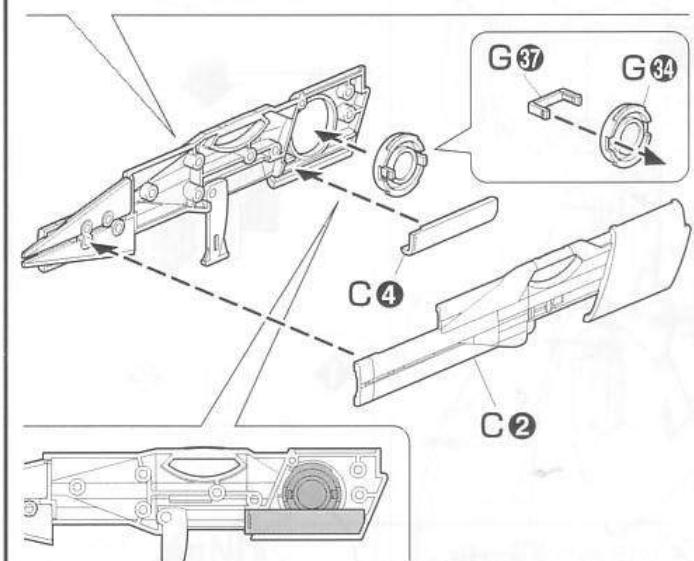
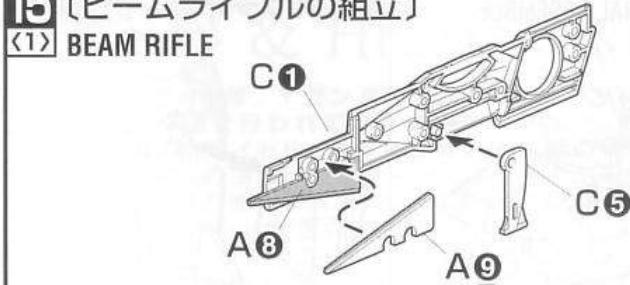
[腰部] 11 12
WAIST UNIT

[コクピット] 13
COCKPIT

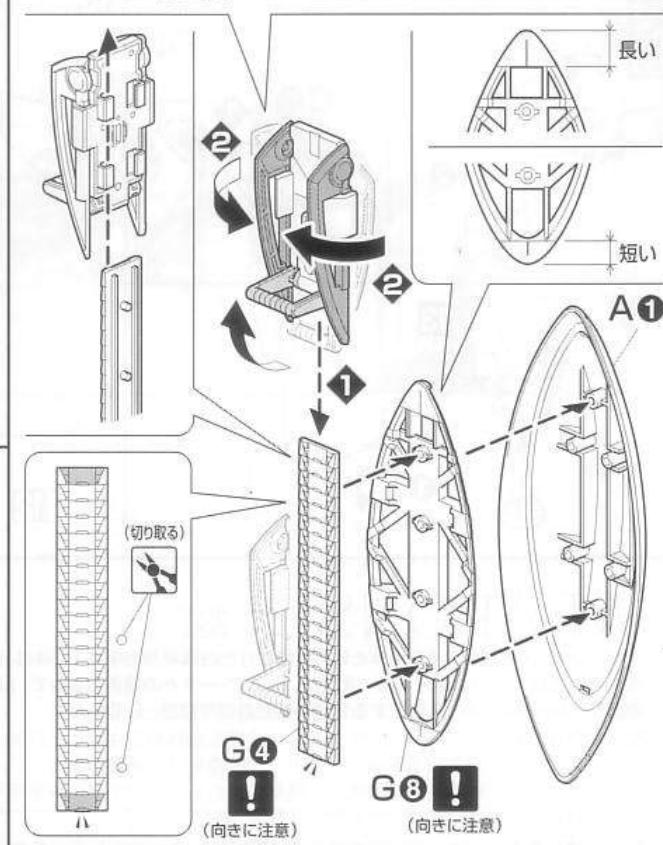
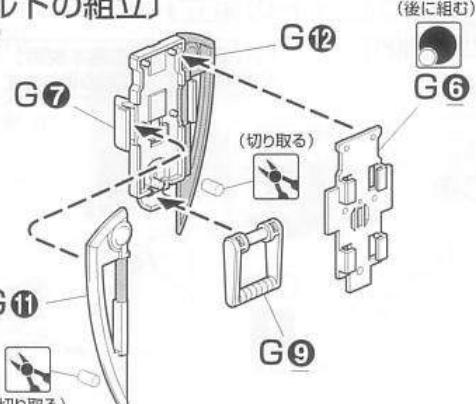
[完成] 14
FINAL ASSEMBLE

[武器] 15 16 17 18 19
WEAPONS

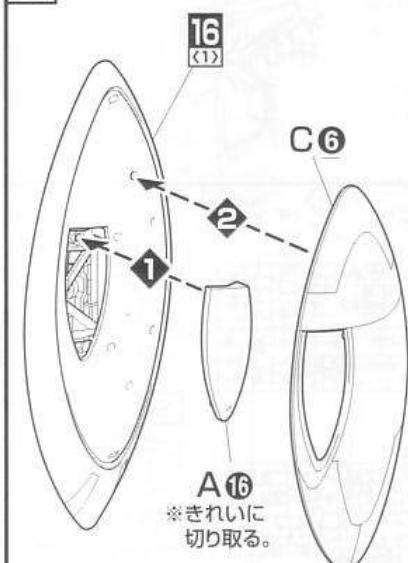
15 [ビームライフルの組立] BEAM RIFLE



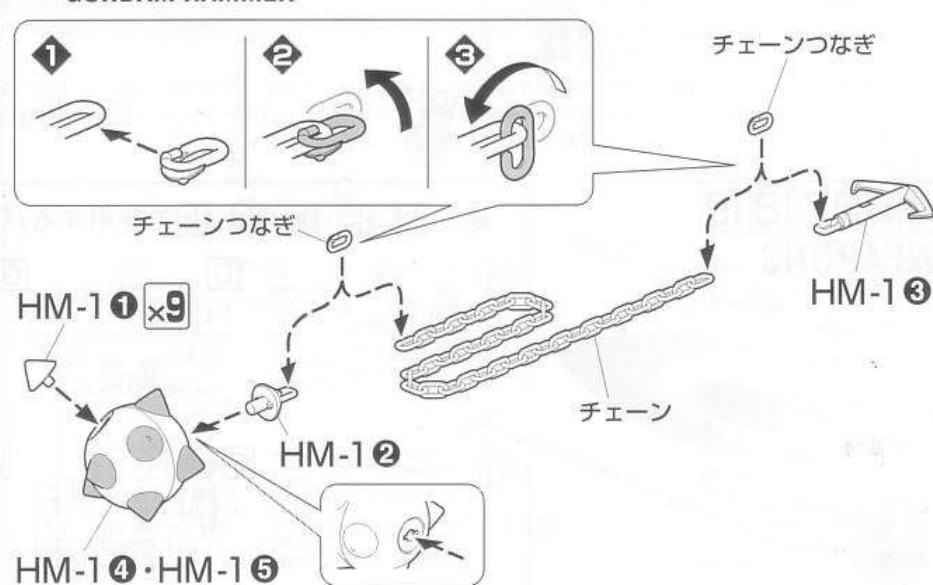
16 [シールドの組立] SHIELD



16 (2)



17 [ガンダムハンマー] GUNDAM HAMMER



[基本説明]
HOW TO

[部品表]
PARTS LIST

[胸部]
BODY UNIT

[頭部]
HEAD UNIT

[腕部]
ARM UNIT

[脚部]
LEG UNIT

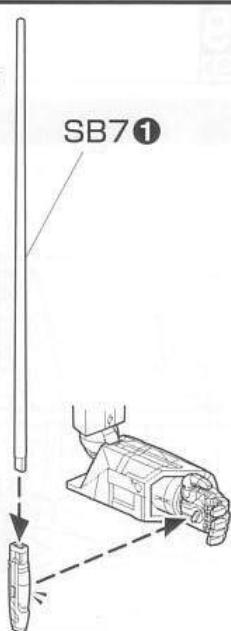
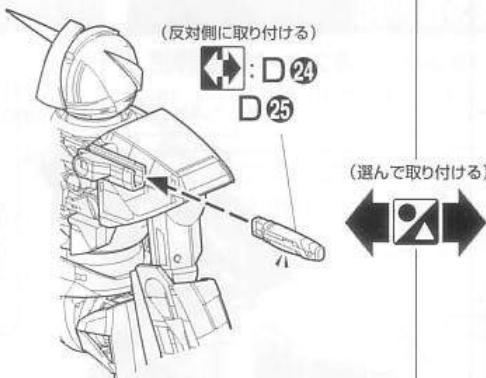
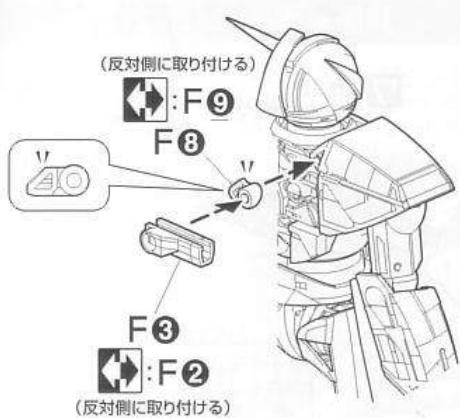
[腰部]
WAIST UNIT

[コクピット]
COCKPIT

[完成]
FINAL ASSEMBLE

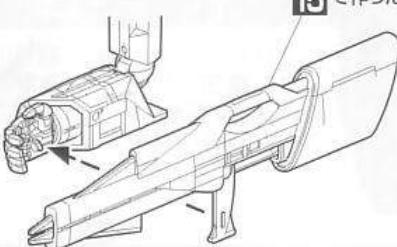
[武器]
WEAPONS

18 [ビームサーベルの組立] BEAM SABER

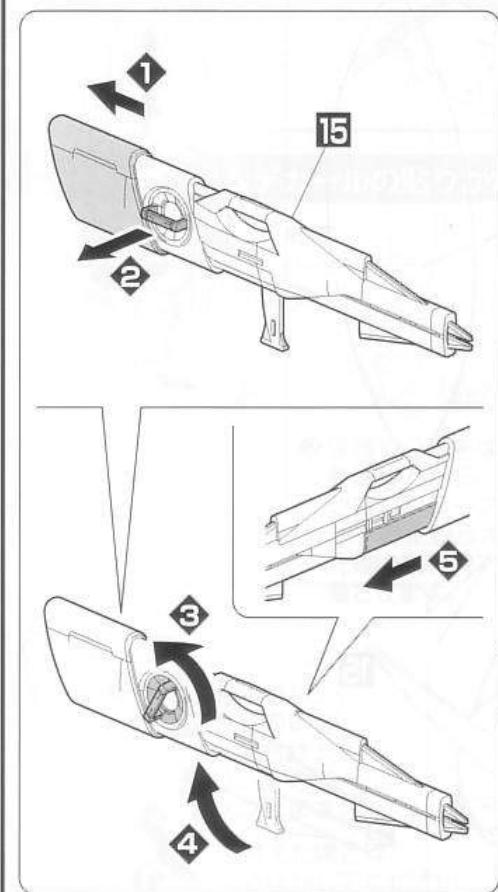


19 [武器の装備] (1) WEAPONS EQUIPMENT

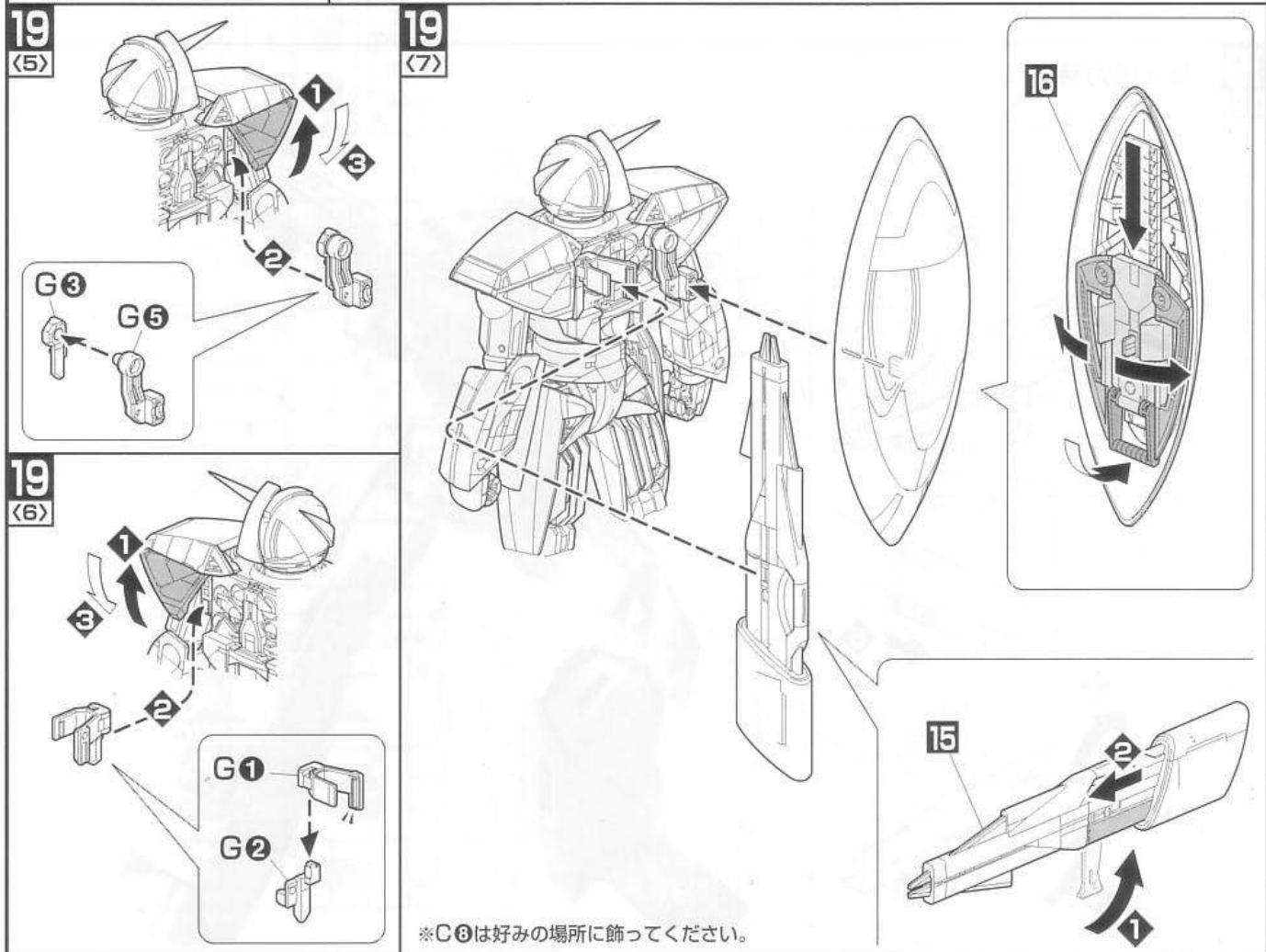
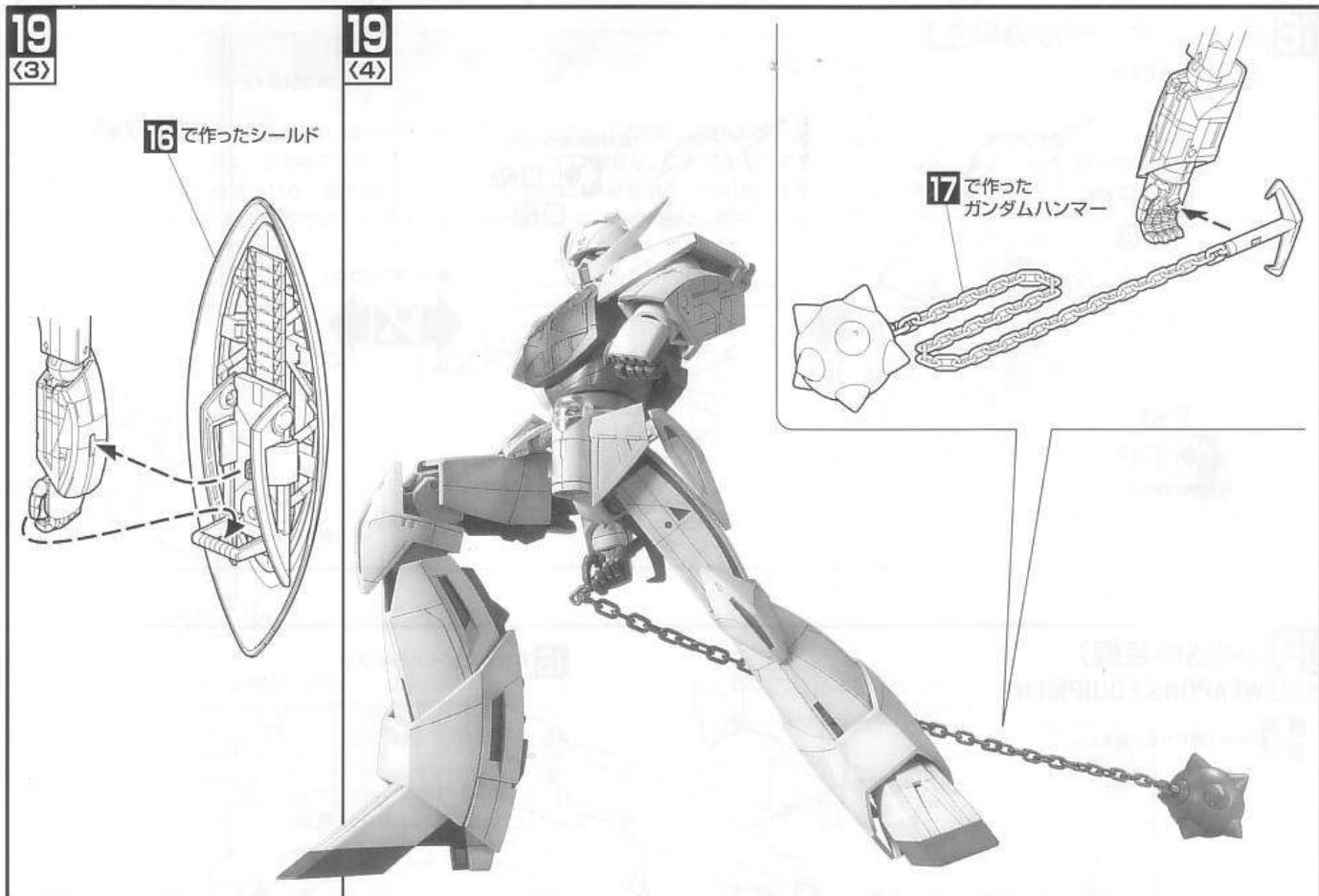
(両腕に持たせられます)



19 <最大出力時> (2)



[武器] 15	[完成] 16	[コクピット] 17	[腕部] 18	[頭部] 19
WEAPONS	FINAL ASSEMBLE	COCKPIT	ARM UNIT	HEAD UNIT
15	16	17	18	19
15	16	17	18	19
15	16	17	18	19



[基本説明]
HOW TO

[部品表]
PARTS LIST

[胸部] 1
BODY UNIT

[頭部] 2
HEAD UNIT

[腕部] 3 4 5 6 7
ARM UNIT

[脚部] 8 9 10
LEG UNIT

[腰部] 11 12
WAIST UNIT

[コクピット] 13
COCKPIT

[完成] 14
FINAL ASSEMBLE

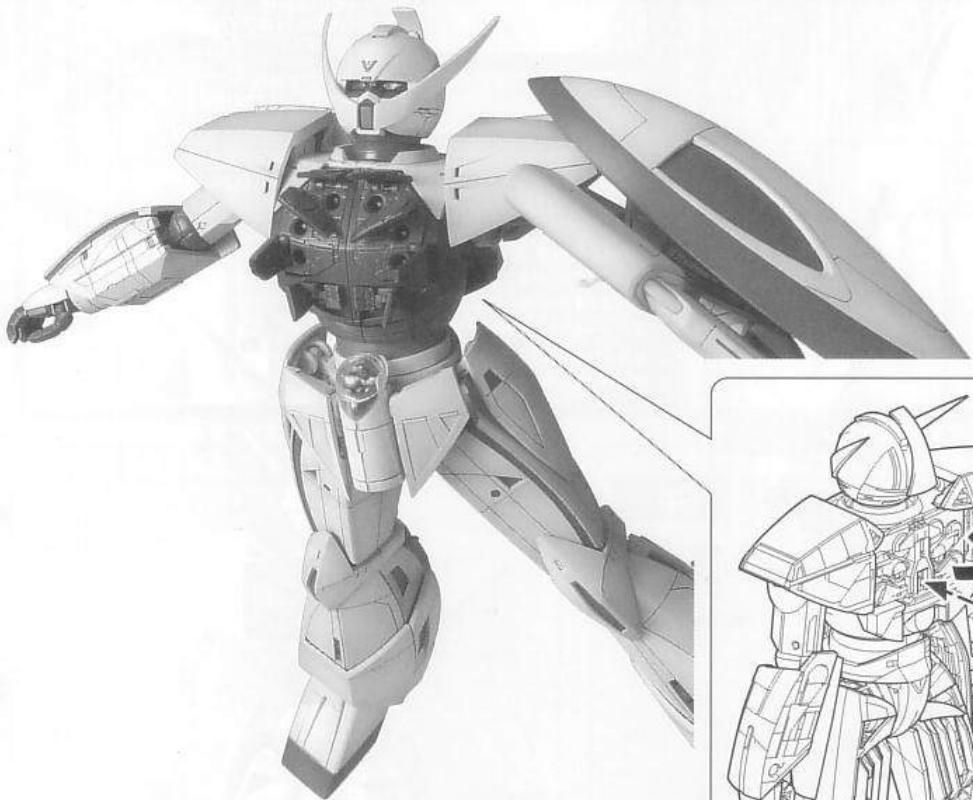
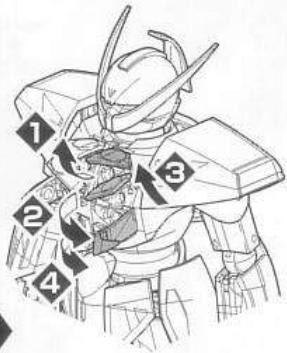
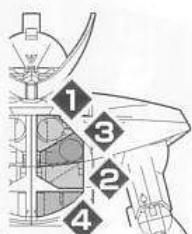
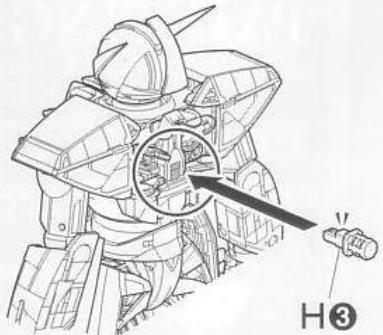
[武器] 15 16 17 18 19
WEAPONS

19

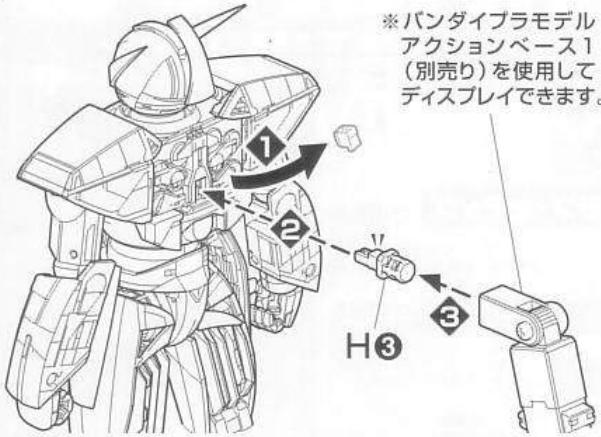
(8)

* H③で、図の位置を押します。

)((两侧動かす)



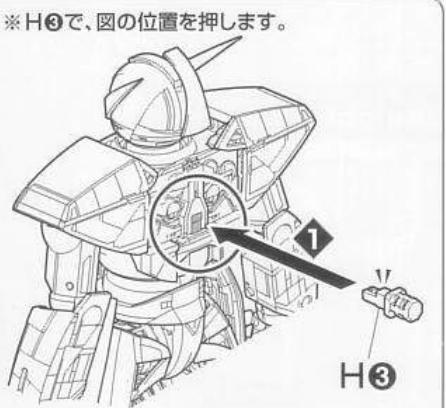
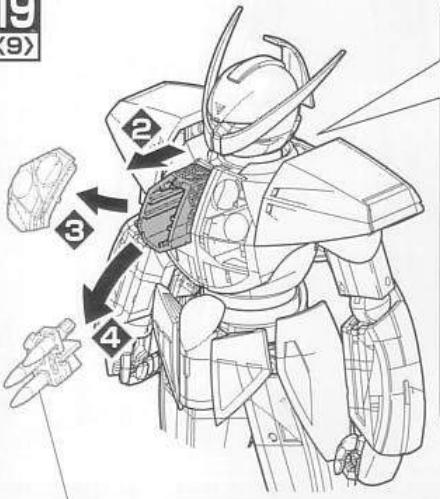
* バンダイプラモデル
アクションベース1
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。



19

(9)

* H③で、図の位置を押します。



* ピンセット等を使用して取り外してください。





PAINTING [塗装]

*よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
*塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

ターンエーガンダム 指定色

腕、脚などの塗装色 ホワイト(100%) + ネービーブルー少量
胸部などの塗装色 ブルー(30%) + インディブルー(25%) + コバルトブルー(25%) + ホワイト(20%)
腹部などの塗装色 レッド(70%) + ブラウン(30%)
首回りなどの塗装色 イエロー(65%) + ホワイト(30%) + オレンジ(5%)
額モールドの塗装色 イエローグリーン(100%)
シールド裏側などの塗装色 ニュートラルグレー(90%) + ブラック(10%)

●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

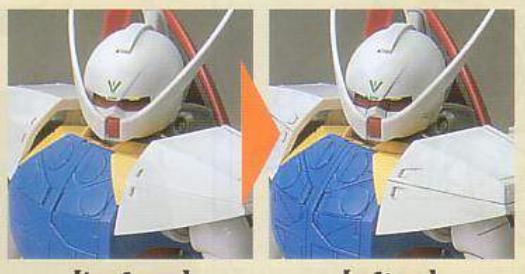


			牛
ロラン・セアック			
ノーマルスーツの塗装色 ホワイト(100%)			胴体の塗装色 ホワイト(100%)
ノーマルスーツ ラインの塗装色 モンザレッド(100%)			胴体の塗装色 ミッドナイトブルー(100%)
ノーマルスーツ ラインの塗装色 ミッドナイトブルー(100%)			乳房部の塗装色 はだ色(95%) + レッド(5%)
ブーツの塗装色 ホワイト(95%) + ブラック(5%)			ツノの塗装色 エアクラフトグレー(95%) + ブラック(5%)
バイザー部の塗装色 スカイブルー(100%)			

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れ してみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



イングレッサ・ミリシャ
モビルスーツ
WD-M01 ターンエーガンダム
1/100スケール マスターグレードモデル

WD-M01 ∀ GUNDAM

Scanned by Dalong.net

MASTER GRADE